



© Copyright 2015, 2016 HP Development  
Company, L.P.

© 2012 Google Inc. All rights reserved.  
Android、Google Chrome、および Google Play  
は Google, Inc.の商標または登録商標です。  
Windows は、米国 Microsoft Corporation の米  
国およびその他の国における商標または登  
録商標です。

本書で取り扱っているコンピューター ソフ  
トウェアは秘密情報であり、その保有、使  
用、または複製には、HP から使用許諾を得  
る必要があります。FAR 12.211 および  
12.212 に従って、商業用コンピューター ソ  
フトウェア、コンピューターソフトウェア  
資料、および商業用製品の技術データは、  
ベンダー標準の商業用ライセンスのもとで  
米国政府に使用許諾が付与されます。

改訂第 2 版 : 2016 年 1 月

初版 : 2015 年 10 月

製品番号 : 845310-293

# 目次

<b>1 HP Touchpoint Manager の概要</b> .....	<b>1</b>
HP Touchpoint Manager のアーキテクチャー .....	1
HP Touchpoint Manager の機能 .....	2
HP Touchpoint Manager の役割 .....	3
<b>2 お使いになる前に</b> .....	<b>5</b>
HP Touchpoint Manager のダウンロードおよびインストール .....	5
管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストールおよび登録 .....	5
Windows 管理対象デバイス .....	5
Windows 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール .....	5
Windows 管理対象デバイスの登録 .....	6
HP Touchpoint Manager クライアントのプロキシサーバーの設定 .....	6
Android 管理対象デバイス .....	6
Android 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール .....	6
Android 管理対象デバイスの登録 .....	7
iOS 管理対象デバイス .....	7
iOS 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール .....	7
iOS 管理対象デバイスの登録 .....	8
高速プロビジョニング (Windows、Android、および iOS) .....	9
複数のユーザーおよびデバイスの登録 .....	9
ユーザーの PIN のダウンロード .....	9
<b>3 ダッシュボード</b> .....	<b>11</b>
クイックリンク .....	12
<b>4 一般的なタスクの実行方法</b> .....	<b>13</b>
警告 .....	13
グループ .....	13
新しいグループの作成 .....	14
グループの編集 .....	14
グループの複製 .....	14
グループの削除 .....	14
グループの詳細の表示 .....	15
ユーザー .....	15

ユーザーの追加 .....	15
複数ユーザーの追加 .....	16
ユーザーの一覧のインポート .....	16
Azure Active Directory (Azure AD) からのユーザーの追加 .....	17
新しいユーザー アカウントの有効化 .....	18
ユーザーの削除 .....	18
ユーザーの PIN のダウンロード .....	18
ユーザー プロファイルの編集 .....	18
自分の HP Touchpoint Manager パスワードのリセット .....	19
ユーザーの確認 .....	19
デバイス .....	19
デバイスの詳細の表示 .....	20
デバイスの削除 .....	21
デバイスの検索 (Windows、Android、および iOS) .....	21
デバイスの検索の有効化 .....	22
デバイスの検索の無効化 .....	22
デバイスからのデータの消去 (Windows、Android、および iOS) .....	22
デバイスの消去操作の順序 (Windows) .....	23
デバイスの消去操作の順序 (Android) .....	23
デバイスの消去操作の順序 (iOS) .....	23
デバイスのロック .....	23
デバイスのアラームを鳴らす .....	24
検索/消去/ロック/アラーム時の警告 .....	24
恒久的な盗難防止 (一部の HP Android Slate タブレットのみ) .....	24
サービス .....	24
Always On Remote Management (常にリモート管理の対象) (HP デバイスのみ) .....	25
デバイスの[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) の 状態の表示 .....	26
[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) の有効化 .....	26
[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) の無効化また は有効化の防止 .....	26
[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) によるリモー トでのデータの消去 .....	27
アプリケーションの展開 .....	27
アプリケーションの展開 (Windows) .....	27
モバイルアプリケーションの展開 (Windows、Android、および iOS) .....	29
アプリ カタログの編集 .....	30
アプリ カタログの複製 .....	30
アプリ カタログの削除 .....	30
アプリ カタログの詳細の表示 .....	30

パスワード復元 .....	30
HP Password Recovery の有効化 .....	30
[HP Password Recovery]の設定 .....	31
Windows パスワードのリセット .....	31
[HP Password Recovery]のセキュリティの質問のリセット .....	31
[HP Password Recovery]の展開の無効化 .....	31
リモート コントロール .....	32
リモートコントロールセッションの開始 .....	32
リモートコントロールオプションの構成 .....	32
リモートコントロールセッション ビューアーの使用 .....	33
モバイルデバイスからのリモートコントロールの使用 .....	33
リモートコントロールセッションの終了 .....	34
セキュリティ .....	34
セキュリティ プロファイルの作成 .....	35
セキュリティ プロファイルの編集 .....	35
セキュリティ プロファイルの複製 .....	35
セキュリティ プロファイルの削除 .....	36
セキュリティ プロファイルの詳細の表示 .....	36
モバイル デバイスのセキュリティ (Android および iOS) .....	36
ウィルス対策 (Windows のみ) .....	36
ファイアウォール (Windows デバイスのみ) .....	37
ソフトウェア インベントリ (Windows および Android) .....	37
ソフトウェアの更新 (Windows のみ) .....	38
[ステータス]タブ .....	38
管理タブ .....	38
Wi-Fi プロビジョニング (Android および iOS のみ) .....	39
無線接続の作成 .....	39
無線接続の編集 .....	39
無線接続の複製 .....	39
無線接続の削除 .....	39
Wi-Fi プロビジョニングの詳細の表示 .....	40
設定 .....	40
会社 .....	40
サブスクリプション .....	40
クレジットカード .....	40
サブスクリプションキー .....	41
サブスクリプションキーの追加 .....	41
プロ パッケージからのダウングレード .....	43
証明書 .....	43

一時停止中のアカウントの再有効化 .....	43
ハードウェアの状態（Windows デバイスのみ） .....	43
サインアウト .....	43
ヘルプとサポート .....	44

## 5 付録 ..... 45

IT 管理者および管理対象ユーザーの役割 .....	45
HP Touchpoint Manager へのアクセス .....	45
HP Touchpoint Manager サービスの使用 .....	45
HP Touchpoint Manager の IT 管理 .....	46
アカウントおよび請求の管理 .....	46
HP Touchpoint Manager のアンインストール .....	46
Android デバイス .....	46
iOS デバイス .....	47

## 索引 ..... 49

# 1 HP Touchpoint Manager の概要

HP Touchpoint Manager はクラウドベースのパワフルなソリューションで、IT リソースが潤沢でない組織でも、データ、デバイス、およびユーザーを簡単に管理できます。HP Touchpoint Manager を使用することで、IT 担当スタッフは問題をリアルタイムですばやくトラブルシューティングでき、様々なデバイス、ブランド、およびオペレーティングシステム全体に対してセキュリティポリシーをポイントアンドクリックで適用できます。IT 担当スタッフは、リアルタイムな予測および警告機能を備えたわかりやすい単一のダッシュボードから、コンピューターおよびモバイルデバイスの状態を、すばやく簡単に追跡でき、先手を打ってトラブルシューティングを開始できます。

HP Touchpoint Manager では、様々な組織のニーズに応えるために、ベーシックパッケージおよびプロパッケージ（プレミアム機能付き）が提供されています。

HP Touchpoint Manager には、以下のような様々な特長および機能があります。

- 様々なデバイスの種類、製造元のブランド（HP および HP 以外のブランド）、およびオペレーティングシステムをサポートする、プラットフォームに依存しないソリューション
- Windows®デバイスへのウィルスおよびマルウェアの脅威に対抗するセキュリティポリシーの適用
- 複数のオペレーティングシステム（Windows、Android™、および iOS）が動作するコンピューター、タブレット、およびモバイルデバイスなどのデバイスの一元管理
- ハードドライブやバッテリー状態などのハードウェアの状態のプロアクティブな監視
- Windows および Android オペレーティングシステムを搭載した HP デバイスの保証状態のプロアクティブな追跡
- 紛失したデバイスの位置確認支援
- 紛失したデバイスのデータのロックまたは消去によるデータセキュリティ
- アプリケーションの管理および展開

## HP Touchpoint Manager のアーキテクチャー

HP Touchpoint Manager は、以下の 3 つのコンポーネントで構成されています。

- **HP Touchpoint Manager の Web ポータル** : HP Touchpoint の Web ポータル、<http://www.hptouchpointmanager.com/> では、HP Touchpoint Manager の設定を管理したり HP Touchpoint Manager クライアントソフトウェアをダウンロードしたりできます。
- **HP Touchpoint Manager クライアント** : HP Touchpoint Manager クライアントソフトウェアは、HP Touchpoint Manager がデバイスの管理に使用する、すべての必要なコンポーネントおよび設定を自動的にインストールします。
- **HP Touchpoint Manager クラウド サービス** : HP Touchpoint Manager クライアントがインストールされている登録済みデバイスとの対話を行う、インターネットベースのサーバー インフラストラクチャ。HP Touchpoint Manager クラウド サービスはインターネットを使用して、HP Touchpoint Manager クライアントにタスクを送信したり、ステータスの更新を受信したりします。コマンドの送信時に管理対象デバイスがオフライン状態だった場合、HP Touchpoint Manager クラウド サービスは保留中のタスクをキューに入れることで、クライアントがインターネットに再接続したとき、タスクをクライアントに送信します。

# HP Touchpoint Manager の機能

	ベーシック	プロ	コンピューター (Windows)	タブレット (Windows、 Android、およ び iOS)	スマートフォン (Android お よび iOS)
<b>Always On Remote Management</b> (常にリモート管理の対象) ( <a href="#">Always On Remote Management (常にリモート管理の対象) (HP デバイスのみ)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓ (Windows のみ)	
<b>Azure Active Directory</b> ( <a href="#">Azure Active Directory (Azure AD) からのユーザーの追加</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	
<b>Wi-Fi プロビジョニング</b> ( <a href="#">Wi-Fi プロビジョニング (Android および iOS のみ)</a> を参照してください)		✓			✓
<b>アプリケーションの展開</b> ( <a href="#">アプリケーションの展開 (Windows)</a> を参照してください)		✓	✓	✓ (Windows のみ)	
<b>アラームを鳴らす</b> ( <a href="#">デバイスのアラームを鳴らす</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓ (Windows および Android のみ)	✓ (Android のみ)
<b>ウイルス対策ポリシー</b> ( <a href="#">ウイルス対策 (Windows のみ)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓ (Windows のみ)	
<b>事前警告</b> ( <a href="#">警告</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓
<b>ソフトウェアインベントリ</b> ( <a href="#">デバイスの詳細の表示</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓ (Windows および Android のみ)	
<b>デバイスの検索</b> ( <a href="#">デバイスの検索 (Windows、Android、および iOS)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓
<b>デバイスの消去</b> ( <a href="#">デバイスからのデータの消去 (Windows、Android、および iOS)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓
<b>バッテリーの状態およびハードウェアの状態</b> ( <a href="#">ハードウェアの状態 (Windows デバイスのみ)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	



	ベーシック	プロ	コンピューター (Windows)	タブレット (Windows、 Android、およ び iOS)	スマートフォン (Android お よび iOS)
ファイアウォールポリシー ( <a href="#">ファイアウォール (Windows デバイスのみ)</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓  (Windows のみ)	
ヘルプとサポート ( <a href="#">ヘルプとサポート</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓
モバイルアプリケーションの展開 ( <a href="#">モバイルアプリケーションの展開 (Windows、Android、および iOS)</a> を参照してください)		✓		✓	✓
モバイルデバイスのセキュリティポリシー ( <a href="#">モバイルデバイスのセキュリティ (Android および iOS)</a> を参照してください)	✓	✓		✓	✓
ユーザーおよびデバイスのインベントリ ( <a href="#">デバイスの詳細の表示</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓
ローカルパスワードのリセット ( <a href="#">自分の HP Touchpoint Manager パスワードのリセット</a> を参照してください)		✓	✓		
ロック ( <a href="#">デバイスのロック</a> を参照してください)	✓	✓	✓	✓	✓

HP Touchpoint Manager はクラウドベースのソリューションです。サブスクリプションには、新機能の追加および定期的なサービスアップデートが含まれます。最新の機能の一覧については、<http://hp.com/go/touchpoint/> を参照してください。

## HP Touchpoint Manager の役割

ポータルアクセス/役割	ベーシック	プロ	説明
IT 管理者	✓	✓	IT 管理者は、サービスのアップグレードまたはダウングレード、ユーザー アカウントの追加または削除、メインの請求先の変更など、HP Touchpoint Manager でのすべてのタスクを実行できます
管理対象ユーザー	✓	✓	管理対象ユーザーは自分のデバイスで特定のタスクを表示および実行できます。たとえば、以下の例が含まれます <ul style="list-style-type: none"> <li>ハードウェア状態情報の表示</li> <li>検索、ロック、およびアラームを鳴らすタスクの実行</li> </ul>

ポータル アクセス/役割	ベーシック	プロ	説明
			ユーザーは他のユーザーのデバイスを表示したり管理したりすることはできません
メインの請求先	✔	✔	すべての HP Touchpoint Manager カスタマー アカウントには、メインの請求先があります。この役割は、IT 管理者ユーザー アカウントのどれかに割り振られており、別の IT 管理者に再割り当てできます。この指定を持つ IT 管理者アカウントは、メインの請求先アカウントを再割り当てしない限り削除できません。初期設定では、HP Touchpoint Manager カスタマー アカウントの作成者に指定されます



 **注記：** 詳しくは、[IT 管理者および管理対象ユーザーの役割](#) を参照してください。

## 2 お使いになる前に


### HP Touchpoint Manager のダウンロードおよびインストール

HP Touchpoint Manager で作業を開始するには、以下の操作を行います。

1. <http://www.hptouchpointmanager.com/> にアクセスします。
2. 以下のどれか1つを選択します。
  - **【無料試用サービスの開始】**：必要な情報を入力し、チェックボックスにチェックを入れて使用条件に同意し、**【今すぐ試用版を使ってみる】**を選択します。
  - **【詳細情報】**：HP Touchpoint Manager に関する詳細情報を表示します。

 **注記**：HP Touchpoint Manager からサインアウトするには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードの右上にある  を選択します。

3. 一元管理のダッシュボードとして選択したデバイスに、HP Touchpoint Manager をダウンロードしてインストールします。管理対象デバイスのインストールおよび登録については、[管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストールおよび登録](#) を参照してください。

 **重要**：HP Touchpoint Manager を使用するよう組織内の追加ユーザーを招待して、それらのユーザーのデバイスを表示および管理できるようにします。

HP Touchpoint Manager には、サポートされる Web ブラウザーから <http://www.hptouchpointmanager.com/> にログインすることでアクセスできます。

### 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストールおよび登録

HP Touchpoint Manager で管理するすべてのデバイスに、小さいクライアントアプリケーションをインストールする必要があります。HP Touchpoint Manager クライアントアプリケーションは、Windows、Android、または iOS オペレーティングシステムが動作するデバイスにインストールできます。

#### Windows 管理対象デバイス

##### Windows 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール

HP Touchpoint Manager クライアントをダウンロードおよびインストールするには、以下の操作を行います。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**【クイックリンク】**の下から、**【自分のデバイスの登録】**を選択します。
2. ソフトウェアをインストールするには、メッセージが表示されたときに、**【実行】**を選択します。クライアントインストーラーウィンドウが表示されます。
3. HP Touchpoint Manager の設定ウィンドウで、**【次へ】**を選択します。

4. 使用許諾契約書のウィンドウにある使用許諾契約書の条項を読み、**【ソフトウェア使用許諾契約書の条件に同意します。】**のチェックボックスを選択します。
5. **【インストール】**を選択します。  
HP Touchpoint Manager クライアントがインストールされます。
6. インストールが完了したら、**【閉じる】**を選択します。
7. 登録に使用する資格情報の種類を選択します。
  - HP Touchpoint Manager にサインインするために使用する電子メールアドレスおよびパスワード
  - IT 管理者によって提供される PIN コード
  - Azure Active Directory 資格情報
8. 資格情報を使用してサインインし、**【登録】**を選択します。
9. HP Touchpoint Manager でデバイスを管理できるようにするには、**【同意する】**を選択します。

## Windows 管理対象デバイスの登録

HP Touchpoint Manager クライアントはインストールされているがコンピューターが登録されていない場合、以下の操作を行います。

1. タスクバーの右下隅にある[HP Touchpoint Manager]アイコンを選択します。
2. 登録に使用する資格情報の種類を選択します。
  - HP Touchpoint Manager にサインインするために使用する電子メールアドレスおよびパスワード
  - IT 管理者によって提供される PIN コード
  - Azure Active Directory 資格情報
3. 資格情報を使用してサインインし、**【登録】**を選択します。

HP Touchpoint Manager デバイスの状態を表示するには、タスクバーの右下隅にある[HP Touchpoint Manager]アイコンを選択し、**【状態】**を選択します。

## HP Touchpoint Manager クライアントのプロキシサーバーの設定

Internet Explorer でプロキシサーバーが指定されている場合、HP Touchpoint Manager クライアントは自動的にそのプロキシサーバーを使用しようとします。HP Touchpoint Manager クライアントは、プロキシに接続できない場合、プロキシを自動検出するかプロキシを使わずに接続しようとします。

HP Touchpoint Manager は、認証されたプロキシをサポートしていません。

## Android 管理対象デバイス


### Android 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール

#### HP Touchpoint Manager Android クライアントのダウンロードおよびインストール

1. Google Play™ストアに移動します。
2. HP Touchpoint Manager アプリケーションをダウンロードしてデバイスにインストールします。

## Android 管理対象デバイスの登録

Android モバイルデバイスを登録するには、以下の手順を実行します。

 **注記：** デバイスを登録するには、HP Touchpoint Manager の有効なアカウントが必要になります。

1. HP Touchpoint Manager アプリケーションを起動します。
2. 自分個人のデバイスであれば**【個人】**を選択し、会社所有のデバイスであれば**【会社】**を選択します。
3. 登録に使用する資格情報の種類を選択します。
  - HP Touchpoint Manager にサインインするために使用する電子メール アドレスおよびパスワード
  - IT 管理者によって提供される PIN コード
  - Azure Active Directory 資格情報
4. 資格情報を使用してサインインし、**【登録】**を選択します。
5. HP Touchpoint Manager クライアント アプリケーションが開始され、ソフトウェア使用許諾契約書 (EULA) が表示されます。使用許諾契約書を読み、**【許可】**をタップして続行します。
6. 登録プロセス中に、Device Administrator 権限を有効にするよう要求されます。この要求を承認すると、HP Touchpoint Manager クライアント アプリケーションでデバイスを管理できるようになります。

これらの追加のアクセス権を承認しない場合、HP Touchpoint Manager はデバイスを管理できず、登録プロセスはキャンセルされます。

## iOS 管理対象デバイス

### iOS 管理対象デバイスへの HP Touchpoint Manager のインストール

#### Apple Push Notification (APN) 証明書の取得

HP Touchpoint Manager で iOS デバイスを管理する場合、Apple Push Notification (APN) 証明書を取得することが Apple から求められます。IT 管理者が初めてアカウントを作成したときに、Apple Push Notification (APN) 証明書の取得を求める注意書きが取得するためのリンクとともに表示されます。

 **注記：** HP Touchpoint Manager クライアントをインストールする前に APN を取得する必要があります。

証明書を取得して、デバイスを設定するには、以下の操作を行います。


**手順 1.** 証明書署名要求の開始：

1. 警告内に示されているリンクを選択します。
2. 要求を開始するには、**【CSR の要求】**を選択します。新しいタブが開いたら、画面の説明に沿ってファイルをダウンロードします。
3. CSR ファイルをダウンロードし、[HP Touchpoint Manager]タブに戻ります。

**手順 2.** Apple Push Notification の設定：


1. **【Apple Push Notification ポータル】**を選択します。

---

 **注記：** この手順では、Internet Explorer 以外のブラウザ（Google Chrome™や Firefox など）を使用する必要があります。

---

2. Apple ID およびパスワードでサインインします。

 **注記：** あらゆる Apple ID を使用できますが、会社用の Apple ID を作成することをおすすめします。

---

3. 画面の説明に沿って、Apple Push Notification (APN) 証明書を作成します。
4. 証明書をダウンロードします。

**手順 3.** APN 証明書のアップロード：

1. **【参照】**を選択します。
2. ダウンロードしておいた APN 証明書を選択します。

**手順 4.** 操作の完了：

1. **【完了】**を選択します。
2. [HP Touchpoint Manager]画面に、インストールが成功し、iOS デバイスを管理する準備が整ったことを知らせるメッセージが表示されます。

### HP Touchpoint Manager Apple iOS クライアントのダウンロードおよびインストール


1. iTunes の App Store に移動します。

または

Apple iOS デバイスのブラウザを開きます。

2. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【自分のデバイスの登録】**をタップします。

HP Touchpoint Manager によって、iTunes の App Store のアプリケーションに表示が切り替わります。

 **注記：** HP Touchpoint Manager クライアントのインストールが完了する前に、以前の管理ソフトウェアを iOS デバイスから削除する必要があります。これは、あるデバイスを同時に管理できるモバイルデバイス管理ベンダーは 1 つに限るという iOS の制限によるものです。

---

## iOS 管理対象デバイスの登録

1. HP Touchpoint Manager アプリケーションを起動します。
2. HP Touchpoint Manager クライアント アプリケーションが開始され、ソフトウェア使用許諾契約書 (EULA) が表示されます。使用許諾契約書を読み、**【許可】**をタップして続行します。
3. 登録に使用する資格情報の種類を選択します。
  - HP Touchpoint Manager にサインインするために使用する電子メールアドレスおよびパスワード
  - IT 管理者によって提供される PIN コード
  - Azure Active Directory 資格情報
4. 資格情報を使用してサインインし、**【登録】**を選択します。

5. HP Touchpoint Manager クライアントから、紛失したり盗まれたりしたデバイスを探すには位置情報サービスを有効にする必要があることが通知されます。次に、位置情報サービスを有効にするよう求められます。
6. HP Touchpoint Manager でデバイスを管理できるようにするために、デバイスにプロファイルをインストールするよう要求されたら、プロファイルをインストールすることを承認します。  
これでデバイスは、HP Touchpoint Manager および IT 管理者によって管理されるようになります。

## 高速プロビジョニング（Windows、Android、および iOS）

Windows、Android、および iOS デバイス向けの PIN ベースのデバイス登録を使用すると、各ユーザーの電子メールアドレスを入力する必要がなく、HP Touchpoint Manager をユーザーに簡単に展開できます。

### 複数のユーザーおよびデバイスの登録

HP Touchpoint Manager の IT 管理者アカウントにログインできるようになったら、以下の操作を行って、管理可能な複数のユーザーおよびデバイスを追加します。

1. <http://www.hptouchpointmanager.com/> で自分のアカウントにサインインします。
2. ユーザーおよびユーザーに関連付けられた PIN のリストをインポートして、複数のユーザーを追加します。詳しくは、[ユーザーの一覧のインポート](#)を参照してください。
3. Apple Push Notification (APN) 証明書を取得します (iOS デバイスのみ)。
4. 各管理対象ユーザーに、HP Touchpoint Manager を iOS または Android デバイ스에ダウンロードしてインストールするよう依頼します。
5. 各管理対象ユーザーに、iOS または Android デバイスを HP Touchpoint Manager アカウントに登録するよう依頼します。

### ユーザーの PIN のダウンロード

IT 管理者は、ユーザーの PIN をダウンロードできます ([ユーザーの PIN のダウンロード](#)を参照してください)。




1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[ユーザー]**を選択します。
2. PIN をダウンロードするそれぞれのユーザーの左にあるチェックボックスにチェックを入れ、**[PIN のダウンロード]**を選択します。
3. 確認ダイアログが表示されたら、**[ダウンロード]**を選択します。
4. ダウンロードした PIN を使用して、ユーザーの Android または iOS デバイスを登録します。





## 3 ダッシュボード

HP Touchpoint Manager ダッシュボードを使用すると、IT 管理者はユーザー、および会社の最近の活動に関する概要を表示できます。IT 管理者は、ダッシュボードの [クイックリンク](#) セクションから操作を行うか、[ユーザー](#)、[デバイス](#)、または [サービス](#) ページに移動して、ユーザー、デバイス、およびポリシー設定を管理できます。

要素	説明
HP Touchpoint Manager メニューバー	次の HP Touchpoint Manager の機能にアクセスします <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">[ホーム]</a> : ダッシュボードに戻ります</li><li>• <a href="#">警告</a></li><li>• <a href="#">グループ</a></li><li>• <a href="#">ユーザー</a></li><li>• <a href="#">デバイス</a></li><li>• <a href="#">サービス</a></li></ul>
	<a href="#">ヘルプとサポート</a> : HP Touchpoint Manager に関する詳細情報にアクセスします
	<a href="#">設定</a> : アカウント情報を管理します
	<a href="#">サインアウト</a> : HP Touchpoint Manager アプリケーションからサインアウトします
ユーザー プロファイルの編集	<a href="#">ユーザー プロファイルの編集</a> : <ul style="list-style-type: none"><li>• <a href="#">[写真の変更]</a></li><li>• <a href="#">[名前]</a></li><li>• <a href="#">[住所]</a></li><li>• <a href="#">[パスワードの変更]</a></li><li>• <a href="#">[通信オプション]</a></li><li>• <a href="#">[マイ デバイス]</a></li></ul>
アカウントの概要	会社のアカウントの <a href="#">[サービス]</a> 、 <a href="#">[ユーザー]</a> 、および <a href="#">[デバイス]</a> の概要を表示します
クイックリンク	<a href="#">クイックリンク</a> : HP Touchpoint Manager 内の一般的な操作にすばやくアクセスします
警告	<a href="#">警告</a> : IT 管理者が注目する必要がある可能性があるイベントの通知にアクセスします
マイ デバイス	<a href="#">デバイス</a> : ユーザーは自分の登録済みデバイスの情報を表示できます
デバイス	<a href="#">デバイス</a> : IT 管理者は会社のすべての登録済みデバイスの情報を表示できます


## クイックリンク

HP Touchpoint Manager 内の一般的な操作にすばやくアクセスするには、以下の操作を行います。

1. 以下のクイックリンクのどれかを選択します。
  - **[ユーザーの追加]** ([ユーザーの追加](#)を参照してください)
  - **[自分のデバイスの登録]**( [HP Touchpoint Manager のダウンロードおよびインストール](#)を参照してください)
  - **[デバイスのロック]** ([デバイスのロック](#)を参照してください)
  - **[デバイスのデータを消去する]** ([デバイスからのデータの消去 \(Windows、Android、およびiOS\)](#)を参照してください)
  - **[デバイスの位置の特定]** ([デバイスの検索 \(Windows、Android、およびiOS\)](#)を参照してください)
  - **[デバイスのアラームを鳴らす]** ([デバイスのアラームを鳴らす](#)を参照してください)
  - **[サブスクリプションキーの追加]** ([サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください)
  - **[リモートコントロール]** (プロのみ) ([リモートコントロール](#)を参照してください)
2. 検索ボックスに、デバイス、ユーザー名、または電子メールアドレスを入力して**[検索]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## 4 一般的なタスクの実行方法

HP Touchpoint Manager には、簡単に使えるクラウドベースの管理ダッシュボードが用意されています。IT 管理者は、ユーザーおよびデバイスを表示および管理できます（[ユーザー](#) および [デバイス](#) を参照してください）。IT 管理者および管理対象ユーザーが実行できるタスクについて詳しくは、[IT 管理者および管理対象ユーザーの役割](#) を参照してください。

 **注記：**一部の機能を使用するには、プロサブスクリプションが必要です（[サブスクリプションの選択](#) を参照してください）。


作業をすばやく実行するには、ダッシュボードにある[\[クイックリンク\]](#)のどれかを選択します（[クイックリンク](#) を参照してください）。

### 警告

警告は、注意する必要があるデバイス動作について IT 管理者に通知するために生成されます。警告には、デバイスの状態、デバイス名、およびデバイスの所有者が表示されます。

問題が発生し、特別な操作が必要になる可能性がある場合は、警告が表示されます。警告は、以下のようないくつかの条件によってトリガーされることがあります。

- [ハードウェアの状態（Windows デバイスのみ）](#)
  - [ファイアウォール（Windows デバイスのみ）](#)
  - [ウイルス対策（Windows のみ）](#)
1. 警告を表示するには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードで[\[警告\]](#)を選択します。  
すべての警告が[\[警告\]](#)ページに表示されます。
  2. 警告を非表示にするには、警告の右側にある[\[X\]](#)を選択します。

 **注記：**警告は削除されません。

3. 警告ログを表示するには、[\[警告\]](#)ページの右上隅にある[\[ログ\]](#)を選択します。

### グループ

IT 管理者は、グループ内のすべてのデバイスおよびユーザーに設定を適用できます。グループの詳細を表示したり、グループを編集、複製、または削除したりできます。初期設定グループには以下のものが含まれます。

- **[初期設定デバイス]：**登録済みのすべてのデバイスが含まれます。
- **[初期設定ユーザー]：**登録済みのすべてのユーザーが含まれます。

IT 管理者は、サブスクリプションレベルに応じて、デバイスまたはユーザーの追加のグループを作成することもできます。

サブスクリプションレベル	機能				
	アプリケーションの展開	セキュリティ	デバイスの検索	リモートコントロール	Wi-Fi プロビジョニング
ベーシックパッケージサブスクリプション	✓	✓	✓		
プロパッケージサブスクリプション	✓	✓	✓	✓	✓

## 新しいグループの作成

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[グループ]**→**[新規作成]**→**[ユーザーグループ]**または**[デバイスグループ]**の順に選択します。
2. **[説明]**で、グループの名前および説明を入力し、**[次へ]**を選択します。
3. **[設定]**で、サービスを選択し、目的の設定を選択して、**[次へ]**を選択します。
4. **[デバイス]**または**[ユーザー]**で、グループに含める各デバイスまたはユーザーの横にある**[追加]**を選択してから、**[完了]**を選択します。

## グループの編集

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[グループ]**を選択し、グループを選択します。
2. グループのドロップダウンメニューから**[編集]**を選択します。
3. グループが開いたら、必要な項目を編集して、**[完了]**を選択します。


## グループの複製

IT 管理者は、グループを複製して、メンバーのない既存のグループの完全なコピーを作成できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[グループ]**を選択し、グループを選択します。
2. グループのドロップダウンメニューから**[複製]**を選択します。
3. グループが開いたら、複製するグループの必要な項目を編集して、**[次へ]**を選択します。
4. グループの新しい選択内容を検索して選択し、**[完了]**を選択します。

## グループの削除

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[グループ]**を選択し、グループを選択します。
2. グループのドロップダウンメニューから**[削除]**を選択します。
3. **[OK]**を選択して削除操作を確定します。

 **注記**：グループを削除しても、その中のユーザーは HP Touchpoint Manager から削除されません。削除されたグループのメンバーは、**[初期設定デバイス]**または**[初期設定ユーザー]**グループに移動します。初期設定グループは削除できません。

## グループの詳細の表示

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[グループ]**を選択し、グループを選択します。
2. グループのドロップダウンメニューから**[詳細]**を選択します。  
選択したグループに関する以下の情報が表示されます。
  - **[設定]**：グループ名、サービスの種類（デバイスまたはユーザー）、およびグループ（アプリカタログ（プロパッケージの場合）、セキュリティなど）に適用されている設定を表示します。
  - **[ユーザー]**：グループのメンバーおよびその役割を表示します。
  - **[デバイス]**：デバイス名、デバイスの所有者の名前、およびデバイスのオペレーティングシステムを表示します。
3. **[完了]**を選択します。

## ユーザー


現在のユーザーの一覧を表示するには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[ユーザー]**を選択します。

ユーザーは2種類あります。

- **[IT 管理者]**：ユーザーの追加、ユーザーの削除、およびユーザー プロファイルの編集を行うことができます。1つのHP Touchpoint Manager アカウントで管理できるユーザーの数に制限はありません。
- **[従業員]**（管理対象ユーザー）：自分の登録済みデバイスの表示、自分のユーザー プロファイルの編集、および自分のパスワードのリセットを行うことができます。

## ユーザーの追加

IT 管理者は、HP Touchpoint Manager に単一ユーザーを追加できます。

 **注記**：複数のユーザーを追加するには、[ユーザーの一覧のインポート](#)、[Azure Active Directory \(Azure AD\) からのユーザーの追加](#)、または[高速プロビジョニング \(Windows、Android、および iOS\)](#)を参照してください。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**[クイックリンク]**の下から、**[ユーザーの追加]**を選択します。  
または  
**[ユーザー]**→**[ユーザーの追加]**の順に選択します。
2. ユーザーの名前、電子メールアドレスを入力して、初期設定のグループを選択します。  
これらは入力必須フィールドではありません。何も情報を入力しない場合は、一般的なユーザーが作成されます（User1 など）。
3. 別のユーザーを1人追加するには、**[別のユーザーの追加]**を選択します。  
ユーザーの一覧をインポートするには、**[一覧のインポート]**（[ユーザーの一覧のインポート](#)を参照してください）または**[Azure AD からインポート]**（[Azure Active Directory \(Azure AD\) からのユーザーの追加](#)を参照してください）を選択します。
4. 以下の支払い方法のどれか1つを選択します。

- 以前に購入したサブスクリプションキーを使用するには、**【送信】**を選択します。
- 以前に購入したサブスクリプションキーを追加するには、**【サブスクリプションキーを入力するには、ここをクリックしてください】**を選択します（[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください）。
- HP Touchpoint Manager のアカウント用にすでに登録されているクレジットカードで料金を支払うには、**【精算】**を選択します。


正常に追加されたユーザーの数を示す確認画面が表示されます。IT 管理者は、登録されている電子メールアドレスを使用して HP Touchpoint Manager のアカウントを必要とするユーザーに電子メール招待状を送信するか、自動的にアカウントを有効にしてデバイスを登録するためにユーザーが使用できる PIN コードの一覧が収められている CSV ファイルをダウンロードできます。

## 複数ユーザーの追加


IT 管理者は、複数のユーザーの一覧をインポートしたり、Azure AD からユーザーをインポートしたりできます。

### ユーザーの一覧のインポート

IT 管理者は、テキスト編集プログラムを使用してユーザー リストを作成することで、一度に複数のユーザーを追加できます。

 **注記:** 新しいユーザーを追加する前にサブスクリプションキーをアカウントに追加する必要があります（[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください）。

1. メモ帳などのテキスト編集プログラムを開きます。
2. 各行の項目の形式は、  
<ユーザー名>, <ユーザー電子メール>, <ユーザーグループ>, <デバイスグループ>  
のようにします。

 **注記:** ユーザーをインポートするには、エントリごとに<ユーザー名>または<ユーザー電子メール>が指定されている必要があります。

3. ユーザーごとに改行し、手順 2 を繰り返します。
4. ユーザーの追加が終了したら、**users.csv** 形式でファイルを保存します。

ユーザー リストをインポートするには、以下の手順を実行します。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**【クイックリンク】**の下から、**【ユーザーの追加】**を選択します。  
または  
**【ユーザー】**→**【ユーザーの追加】**の順に選択します。
2. **【一覧のインポート】**を選択します。
3. 作成した.csv ファイルを選択し、画面の説明に沿って操作します。
4. インポートされるユーザーの一覧を表示するには、**【Pending Users】**（保留中のユーザー）を選択します。
5. 完全に有効にするユーザー アカウントを選択します。ユーザー アカウントのグループを変更することもできます。

6. HP Touchpoint Manager のアカウント用にすでに登録されているクレジットカードで料金を支払うには、エントリが正確であることを確認し、**【送信】**を選択してユーザーを追加します。

または


以前に購入したサブスクリプションキーを使用するには、**【サブスクリプションキーを入力するには、ここをクリックしてください】**を選択し（[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください）、**【送信】**を選択してユーザーを追加します。

正常に追加されたユーザーの数を示す確認画面が表示されます。


7. IT 管理者は、登録されている電子メールアドレスを使用して HP Touchpoint Manager のアカウントを必要とするユーザーに電子メール招待状を送信するか、自動的にアカウントを有効にしてデバイスを登録するためにユーザーが使用できる PIN コードの一覧が収められている CSV ファイルをダウンロードできます。

## Azure Active Directory (Azure AD) からのユーザーの追加

IT 管理者は Azure AD から複数のユーザーをインポートすることで、ユーザーが自分の Azure AD 資格情報を使用して HP Touchpoint Manager にサインインできるようにすることができます。

 **注記:** 新しいユーザーを追加する前にサブスクリプションキーをアカウントに追加する必要があります（[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください）。

 **注記:** ユーザーのインポートを実行するとき、HP Touchpoint Manager の IT 管理者の電子メールアドレスが、Azure AD 管理者の電子メールアドレスと同じでなければなりません。たとえば、Touchpoint の IT 管理者の電子メールアドレスが **mailto:first.last@mycompany.com** の場合、インポートに使用される Azure AD アカウントは **mailto:first.last@mycompany.com** になっている必要があります。

 **注記:** Microsoft® Live アカウントの資格情報（**mailto:first.last@mycompany.com** など）は Azure AD の資格情報と異なるため、Azure Active Directory からユーザーをインポートするためにこれらを使用することはできません。このタスクを実行するには、有効な Azure AD ユーザー資格情報のみ使用できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**【クイックリンク】**の下から、**【ユーザーの追加】**を選択します。

または

**【ユーザー】**→**【ユーザーの追加】**の順に選択します。

2. **【Azure AD からインポート】**を選択します。
3. Azure ログイン資格情報を入力し、**【Grant Access】**（アクセスの許可）を選択して、画面の説明に沿って操作します。
4. インポートされるユーザーの一覧を表示するには、**【Pending Users】**（保留中のユーザー）を選択します。

HP Touchpoint Manager は、Azure AD の電子メールアドレスと一致する HP Touchpoint Manager ユーザーの電子メールアドレスを検出し、一致した電子メールアドレスをマージします。

5. 完全に有効にするユーザー アカウントを選択します。ユーザー アカウントのグループを変更することもできます。
6. HP Touchpoint Manager のアカウント用にすでに登録されているクレジットカードで料金を支払うには、エントリが正確であることを確認し、**【送信】**を選択してユーザーを追加します。

または

以前に購入したサブスクリプションキーを使用するには、**[サブスクリプションキーを入力するには、ここをクリックしてください]**を選択し（[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください）、**[送信]**を選択してユーザーを追加します。

正常に追加されたユーザーの数を示す確認画面が表示されます。

7. IT 管理者は、登録されている電子メールアドレスを使用して HP Touchpoint Manager のアカウントを必要とするユーザーに電子メール招待状を送信するか、自動的にアカウントを有効にしてデバイスを登録するためにユーザーが使用できる PIN コードの一覧が収められている CSV ファイルをダウンロードできます。

## 新しいユーザー アカウントの有効化

1. ユーザー アカウントが作成されたときに受信した、HP Touchpoint Manager アカウントの確認用の電子メールを開きます。
2. 確認用の電子メールで、**[アカウントを有効にする]**を選択します。
3. HP Touchpoint Manager のホーム画面で、画面の説明に沿って操作します。  
HP Touchpoint Manager ダッシュボードが表示されます。
4. サインアップまたは登録を完了するには、クライアントソフトウェアをインストールします。

## ユーザーの削除

IT 管理者は、HP Touchpoint Manager からユーザーを削除できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[ユーザー]**を選択します。
2. 削除するそれぞれの名前の左にあるチェックボックスにチェックを入れ、**[ユーザーの削除]**を選択します。
3. 確認ダイアログが表示されたら、**[削除]**を選択します。

## ユーザーの PIN のダウンロード

IT 管理者は、ユーザーの PIN をダウンロードできます（[高速プロビジョニング \(Windows、Android、および iOS\)](#)を参照してください）。PIN を使用すると、<http://www.hptouchpointmanager.com/> にログオンしないユーザー、または電子メールアドレスのないユーザーのデバイスを登録できます。この方法で作成したユーザー アカウントに対して、IT 管理者は各ユーザーに一意的登録コードを配布します。PIN コードは、1つのデバイスの登録に1回使用できます。


1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[ユーザー]**を選択します。
2. PIN をダウンロードするそれぞれのユーザーの左にあるチェックボックスにチェックを入れ、**[PIN のダウンロード]**を選択します。
3. 確認ダイアログが表示されたら、**[ダウンロード]**を選択します。

## ユーザー プロファイルの編集

IT 管理者は、ユーザーのプロファイルを編集したり、ユーザーの登録済みデバイスを表示したり、ユーザーを HP Touchpoint Manager から削除したりできます。

ユーザーは自分自身のプロファイルを編集したり、自分自身のパスワードを変更したりできます。



1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【ユーザー】**を選択します。
  2. 情報を編集するユーザーの名前を選択します。  
選択されたユーザーの写真、状態、役割、およびデバイスを示す詳細ページが表示されます。
  3. ユーザーの情報を編集するには、以下の操作を行います。
    - **連絡先情報**：**【編集】**を選択し、新しい情報を入力して、**【保存】**を選択します。
    - **【パスワードの変更】**：**【編集】**を選択し、古いパスワード、新しいパスワード、確認用の新しいパスワードを入力して、**【保存】**を選択します。
- 
-  **注記**：IT 管理者が管理対象ユーザーのパスワードを変更することはできません。管理対象ユーザーは自分自身のパスワードを変更できます。
- 
- **【通信オプション】**：**【編集】**を選択し、チェックボックスにチェックを入れるかチェックを外して電子メールおよび通知の設定を行い、**【保存】**を選択します。

## 自分の HP Touchpoint Manager パスワードのリセット

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【ユーザー プロファイルの編集】**を選択します。
2. **【パスワードの変更】**で、**【編集】**を選択します。
3. 古いパスワード、新しいパスワード、確認用の新しいパスワードを入力します。
4. **【保存】**を選択します。

## ユーザーの確認


IT 管理者は登録済みユーザーの情報を確認できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【ユーザー】**を選択します。
2. 検索ボックスに管理対象ユーザーの電子メール アドレスを入力します。
3. 電子メール アドレスを選択します。  
会社名、ユーザー名、およびデバイス情報が表示されます。

## デバイス

HP Touchpoint Manager は、すべてのコンピューター資産を保護および追跡し、登録済みユーザー向けのデバイスサポートを提供します。デバイスの種類、デバイス名、ユーザー名、デバイスの所有者、および前回のアップデートが表示されます。

- **IT 管理者**
  - 現在登録されているデバイスの一覧を表示するには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**【デバイス】**を選択します。
  - 選択したデバイスの所有権を変更するには、**【会社のデバイス】**または**【個人のデバイス】**を選択します。

 **注記**：個人のデバイスには、一部のポリシーが適用されません。

- **【デバイスのデータの消去】**：無効
  - **【デバイスの検索】**：IT 管理者の場合は無効
  - **【セキュリティ設定】→【カメラを無効にする】**：適用されません
  - **【セキュリティ設定】→【Erase device after x password attempts】**（パスワード入力が x 回試行された後でデバイスを消去する）：適用されません
- 選択したデバイスを削除するには、**【デバイスの削除】**を選択します（[デバイスの削除](#)を参照してください）。
- **ユーザー**：自分自身の登録済みデバイスを表示するには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**【デバイス】**を選択します。

## デバイスの詳細の表示

デバイスの詳細を表示するには、以下の操作を行います。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【デバイス】**を選択します。
2. 表示されているリストからデバイスを選択します。

選択したデバイスに関する次の情報が表示されます。

- **要点**：デバイスの種類、デバイスのインベントリ番号、所有者、前回の更新日、およびグループを表示します
  - **【概要】**：HP Touchpoint Manager のバージョン、デバイスの種類、オペレーティングシステム、製造元、モデル番号、BitLocker の状態、およびデバイスの所有者を表示します
  - **【状態】**：アラート、ハードデスクの状態、バッテリーの状態、ウイルス対策の状態、およびファイアウォールの状態を表示します
  - **【ハードウェア】**：ハードドライブの状態、バッテリーの状態、ハードドライブまたはバッテリーの前のチェック日、モデル番号、シリアル番号、プロセッサの種類、メモリ、グラフィックスカードなどハードウェアの詳細を表示します
  - **【ソフトウェア】**：インストールされているソフトウェア、バージョン番号、およびインストール日を表示します（Android および iOS のみ）
  - **【サービス】**：デバイスに対して有効になっているサービスを表示します
  - **【保証】**：製造元、保証の種類（HP デバイスのみ）、保証の開始日および終了日（Windows または Android オペレーティングシステム搭載の HP デバイスのみ）、保証内容（HP デバイスのみ）、およびサービスの詳細を表示します
3. **【行う操作...】**で、表示されているデバイスに対して実行する動作を次から選択できます。
    - **【アラームを鳴らす】**：[デバイスのアラームを鳴らす](#)を参照してください。
    - **【このデバイスをロックする】**：[デバイスのロック](#)を参照してください。
    - **【このデバイスのデータを消去する】**：[デバイスからのデータの消去（Windows、Android、および iOS）](#)を参照してください。
    - **【リモートコントロールを有効にする】**：[リモートコントロール](#)を参照してください。
    - **【このデバイスの位置を特定する】**：[デバイスの検索（Windows、Android、および iOS）](#)を参照してください。

- **【警告を表示する】**: [警告](#) を参照してください。
- **【デバイスの削除】**: [デバイスの削除](#) を参照してください。

## デバイスの削除

IT 管理者は、HP Touchpoint Manager からデバイスを削除できます。


1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【デバイス】**を選択します。
2. 削除するデバイスの左にあるチェックボックスにチェックを入れます。
3. **【デバイスの削除】**を選択します。
4. 確認用のバナーが表示されたら、**【削除】**を選択します。

または

- ▲ デバイスの詳細を表示している画面で**【行う操作...】**の**【デバイスの削除】**オプションを選択します ([デバイスの詳細の表示](#) を参照してください)。

## デバイスの検索 (Windows、Android、および iOS)

IT 管理者は、地図上で管理対象デバイスを検索できます。ユーザーは自分自身のデバイスは検索できませんが、他のユーザーのデバイスは表示できません。

 **注記**：このポリシーは、個人のデバイスには適用されません。

デバイスを検索するには、HP Touchpoint Manager ダッシュボードで以下の操作を行います。

- ▲ **【クイックリンク】**から、**【デバイスの位置の特定】**を選択します。

または

**【デバイス】**一覧ページからデバイスを選択してデバイスの詳細を表示し、**【行う操作...】**→**【このデバイスの位置を特定する】**の順に選択します。


デバイスが最後に検出された位置が地図上に表示されます。

IT 管理者は、他の管理対象デバイスの一覧を表示することもできます。

デバイスの検索機能には、以下のものがあります。

**アラームを鳴らす (Windows および Android のみ)**：近くにある紛失したデバイスを探すために、HP Touchpoint Manager サービスではデバイスからアラームを鳴らすことができます。初期設定では音は止めるまで 30 秒続きます。HP Touchpoint Manager は、音を鳴らす前に、サウンドを自動的に有効にし、スピーカーの音量を最大に設定します。

**デバイスのロック**：Android デバイスの場合、デバイスの画面は秘密の PIN コード (**【デバイス詳細】** ページで表示可能) を使用してロックされ、PIN コードを入力するまで使用できなくなります。ユーザーはその後、デバイスの新しい PIN コードを入力するよう要求されます。iOS デバイスの場合、デバイスは現在デバイスに保管されているパスコードを使用してロックされます。

 **注記**：紛失したデバイスを取り戻した場合、IT 管理者はデバイスのロックを解除するための PIN を提供できます。

**デバイスのデータの消去**：この機能により工場出荷時設定へのデバイスのリセットが実行され、デバイス上のすべてのデータが消去されますが、デバイスに接続可能な外部接続メディアのデータは消去されません。

**地図上でのデバイスの検索**：デバイスが最後に検出された位置が地図上に表示されます。以下の操作を選択することもできます。

- **[アラームを鳴らす]**：[デバイスのアラームを鳴らす](#)を参照してください。
- **[ロック]**：[デバイスのロック](#)を参照してください。
- **[デバイスのデータの消去]**：[デバイスからのデータの消去（Windows、Android、および iOS）](#)を参照してください。

## デバイスの検索の有効化

IT 管理者は、以下の操作を行って、デバイスの検索機能を有効にできます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[デバイスの検索]**の下から**[構成]**を選択します。
2. **[デバイスの検索の有効化]**チェックボックスにチェックを入れます。

## デバイスの検索の無効化

IT 管理者は、以下の操作を行って、デバイスの検索機能を無効にできます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**[サービス]**の下から、**[デバイスの検索]**を選択します。
2. **[デバイスの検索の有効化]**チェックボックスのチェックを外します。

## デバイスからのデータの消去（Windows、Android、および iOS）

Android および iOS デバイスの場合は、この機能により工場出荷時設定へのデバイスのリセットが実行されます。Windows デバイスの場合は、この機能によりデバイス上のすべてのデータが消去されますが、デバイスに接続可能な外部接続メディアのデータは消去されません。

IT 管理者のみが、登録済みデバイスからデータをリモートで消去できます。

この機能はデバイスをログオフし、デバイスからすべてのデータを消去しようとします。

**⚠ 注意**：この機能は開始されるとキャンセルできません。操作が完了するまで非常に長い時間がかかります。

**📖 注記**：Windows デバイスがロックされたがデータの消去後に見つかった場合、IT 管理者はデバイスのロックを解除するための PIN を提供できます。

**📖 注記**：このポリシーは、個人のデバイスには適用されません。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**[クイック リンク]**の下から、**[デバイスのデータの消去]**を選択します。  
または  
HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[デバイス]**を選択します。
2. データを消去するデバイスを選択します。
3. **[デバイスデータの消去]**を選択します。
4. IT 管理者パスワードを入力し、**[消去]**を選択します。

## デバイスの消去操作の順序 (Windows)

他の人にアクセスされたくない機密のユーザー データが含まれるデバイスを紛失して回収できない場合、IT 管理者は、デバイスの消去機能を使用できます。

Windows デバイスの消去プロセスでは、ユーザー データを消去して、コンピューターの固定ハードドライブ上のすべてのデータ ファイルを上書きし、データ消去に使用される従来のユーティリティで回復不能になるようにします。

データ消去プロセスが完了すると、HP Touchpoint Manager はさらに完全な保護を実現するために、固定ドライブ上の未割り当てのすべてのファイル領域を上書きします。HP Touchpoint Manager は、Windows オペレーティング システムやプログラム ファイルは削除しません。完全な消去プロセスには何時間もかかる可能性があるため、プロセスではまずデータ ファイルを対象とし、次に、以前消去されたファイルの断片化データが含まれている可能性がある空きドライブ領域を対象とします。タスクが完了しなかった場合は、デバイスの再起動後にタスクが再開されます。

**△ 注意：** デバイスの消去の実行後は、オペレーティング システムまたはインストールされているアプリケーションがデバイスで引き続き機能するという保証はありません。紛失したデバイスが最終的に回収された場合は、デバイスを使い続ける前にオペレーティング システムおよびアプリケーションを再インストールすることをおすすめします。

## デバイスの消去操作の順序 (Android)

Android デバイスの消去プロセスでは、工場出荷時設定へのリセットが実行されます。このプロセスでは、紛失したデバイスにあるすべてのデータおよびアプリケーションにアクセスできないようにします。

## デバイスの消去操作の順序 (iOS)

iOS デバイスの消去プロセスでは、工場出荷時設定へのリセットが実行されます。このプロセスでは、紛失したデバイスにあるすべてのデータおよびアプリケーションにアクセスできないようにします。

## デバイスのロック

IT 管理者は、デバイスをリモートでロックできます。

- **Android デバイス：** デバイスの画面は秘密の PIN コード ([**デバイスの詳細**] ページで表示可能) を使用してロックされ、PIN コードを入力するまで使用できなくなります。ユーザーはその後、デバイスの新しい PIN コードを入力するよう要求されます。
- **iOS デバイス：** デバイスは現在デバイスに保管されているパスコードを使用してロックされます。
- **Windows デバイス：** ユーザーのセッションがログオフされます。

**📖 注記：** 紛失したデバイスを取り戻した場合、IT 管理者はデバイスのロックを解除するための PIN を提供できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの [**クイック リンク**] の下から、 [**デバイスのロック**] を選択します。  
または  
HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 [**デバイス**] を選択します。
2. ロックするデバイスを選択します。
3. デバイスをロックするには、 [**ロック**] を選択します。

## デバイスのアラームを鳴らす

近くにある紛失したデバイスを探すために、HP Touchpoint Manager サービスではデバイスのアラームを鳴らすことができます。初期設定では音は止めるまで 30 秒間続きます。HP Touchpoint Manager は、音を鳴らす前に、サウンドを自動的に有効にし、スピーカーの音量を最大に設定します。

IT 管理者は、登録済みデバイスのアラーム音をリモートで鳴らすことができます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの[クイックリンク]の下から、[デバイスのアラームを鳴らす]を選択します。


または

HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、[デバイス]を選択します。

2. デバイスを選択し、[アラームを鳴らす]を選択します。

HP Touchpoint Manager はデバイスの音を鳴らします。

## 検索/消去/ロック/アラーム時の警告

 **注記：**工場出荷時設定へのリセットによる消去操作が完了すると、デバイスが HP Touchpoint Manager ソフトウェアとの通信機能を失うため、警告は生成されません。

## 恒久的な盗難防止（一部の HP Android Slate タブレットのみ）

一部の HP Android Slate タブレットには、恒久的な盗難防止テクノロジーが搭載されており、HP Touchpoint Manager では、デバイスが盗まれた可能性があることを IT 管理者に知らせる警告が表示されます。

HP Touchpoint Manager アカウントで登録されているサポート対象のデバイスが工場出荷時の状態にリセットされた場合、デバイスが盗まれた可能性があることを IT 管理者に知らせる警告が表示されます。


IT 管理者は、デバイスの検索機能を使用してデバイスを探したり、ロックしたり、アラームを鳴らしたり、デバイスからデータを消去したりできます（[デバイスの検索 \(Windows、Android、および iOS\)](#) を参照してください）。デバイスを取り戻した場合、デバイス所有者は HP Touchpoint Manager を起動し、ユーザー名およびパスワードを入力してサインインし、デバイスを認証することで、盗難防止モードを解除できます。

## サービス

HP Touchpoint Manager は、1 日 24 時間、週 7 日サービスを監視します。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードには、以下のサービスが表示されます。

- [セキュリティ](#)
- [デバイスの検索 \(Windows、Android、および iOS\)](#)
- [Wi-Fi プロビジョニング \(Android および iOS のみ\)](#)
- [パスワード復元](#)
- [アプリケーションの展開](#)
- [リモートコントロール](#)


- [ソフトウェア インベントリ \(Windows および Android\)](#)
  - [ソフトウェアの更新 \(Windows のみ\)](#)
2. 購入済みのサービスを表示するには、 → [サービス]の順に選択します。
  3. 各購入済みサービスについての登録済みユーザーを表示するには、[サービスに移動する]を選択します。

## Always On Remote Management (常にリモート管理の対象) (HP デバイスのみ)


HP Touchpoint Manager は、[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) を使用して、スリープ (S3)、休止状態 (S4)、ソフトウェアによる電源オフ (S5) などの省電力モードになっている一部の HP デバイスと通信できます。この機能は一部の HP デバイスで有効で、登録済みデバイスに HP Touchpoint Manager ソフトウェアがインストールされると自動的に有効になります。

[Always On Remote Management] を使用して HP Touchpoint Manager サーバー経由で IT 管理者がデバイスにアクセスした場合、以下の BIOS レベルの機能を使用できます。

- **リモートロック**: 紛失したり盗まれたりしたデバイスをリモートで安全にロックします。デバイスのこのロックを解除するには、PIN 番号が必要です。


 **注記**: IT 管理者は、[デバイスの詳細] ページでロック解除用の PIN 番号を表示できます。デバイスのロックを解除するには、PIN をローカルで入力する必要があります。

- **リモート消去**: 紛失したり盗まれたりした、または再割り当てされたデバイスのデータを安全に消去します。デバイスは、リモート消去コマンドを受信したときにもリモートロックを実行します。デバイスでリモート消去が開始されると、消去が完了するまではロック解除用の PIN を入力できません。
- **ロック解除**: IT 管理者は、[デバイスの詳細] ページでロック解除用の PIN 番号を表示できます。デバイスのロックを解除するには、PIN をローカルで入力する必要があります。
- **[Always On Remote Management] ブートエラー報告**: デバイスをブートできず通信を確立できない場合は、エラーがサーバーに報告されます。サーバーは、エラーの簡単な説明が含まれた警告を IT 管理者に送信します。

 **注記**: この機能は、すべての国や地域で使用できるわけではありません (<http://www.hp.com/go/touchpoint/> を参照してください)。アウトオブバンドでの HP のみの消去、ロック、ロック解除、および BIOS ブートエラーコードの報告は、一部の HP EliteBook で利用可能であり、インターネット接続およびインテル vPro™テクノロジーが必要です。これらの機能は電源状態 S3 (スリープ)、S4 (休止状態)、および S5 (ソフトウェアによる電源オフ) で動作します。ハードウェアによる暗号化が有効になっている自己暗号化ドライブでは、[Always On Remote Management] の消去機能はサポートされません。消去処理中、SATA ドライブ (標準ハードドライブ) のデータは消去されます。

現在、[Always On Remote Management] は一部の HP EliteBook および HP ZBook デバイスでサポートされています。さらに、デバイスは以下の機能を備えている必要があります。

- Windows 7 Service Pack 1 (SP1) 以降のオペレーティングシステム
- インテル vPRO テクノロジー
- SATA のみ (標準ハードドライブ)

 **注記**: ハードウェアによって暗号化された自己暗号化ドライブ (SED) は、リモートでは消去されません。

- [Always On Remote Management]機能をデバイスの BIOS で有効にする必要があります。
- HP Touchpoint Manager クライアントソフトウェアをインストールし、ベーシックパッケージまたはプロパッケージのどちらかのサブスクリプションプランでデバイスを登録する必要があります。機能は各サブスクリプションプランで異なります。

## デバイスの[Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）の状態の表示


[Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）機能がデバイスで有効になっているかどうか、またはサポートされているかどうかを判断するには、デバイスの[デバイスの詳細]を表示します。状態は[Always On Remote Management]ラベルの下に表示されます（[デバイスの詳細の表示](#)を参照してください）。可能な状態は次のとおりです。

- **【有効】**：[Always On Remote Management]は有効になっており、すぐに使用できます。
- **【有効化されています】**：[Always On Remote Management]は有効化中です。
- **【無効】**：[Always On Remote Management]は BIOS で無効になっており、再度有効にする必要があります。
- **【サポートされていません】**：指定されたデバイスでは[Always On Remote Management]はサポートされていません。

## [Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）の有効化

[Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）を有効にするには、以下の手順を実行します。

1. デバイスの再起動時に、**f10** を押して BIOS セットアップ（F10）にアクセスします。
2. **【詳細設定】**を選択し、**【HP Touchpoint Manager オプション】**を選択します。
3. **【有効化の許可】**チェックボックスにチェックを入れます。


 **注記**：BIOS 管理者パスワードを設定して、不正なプロビジョニング解除が行われないようにすることをおすすめします。パスワードが設定されていないと、デバイスを物理的に入手した人物は[Always On Remote Management]機能（ロックやデータ消去機能を含む）を無効にできます。

## [Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）の無効化または有効化の防止

[Always On Remote Management]（常にリモート管理の対象）を無効にする、または有効化を防止するには、以下の手順を実行します。

1. デバイスの再起動時に、**f10** を押して BIOS セットアップ（F10）にアクセスします。
2. **【詳細設定】**を選択し、**【HP Touchpoint Manager オプション】**を選択します。
3. **【有効化の許可】**チェックボックスのチェックを外します。

デバイスが登録およびプロビジョニングされた後でチェックを外すと、デバイスはプロビジョニング解除され、HP Touchpoint Manager はそのデバイスを再プロビジョニングできなくなります。**【有効化の許可】**にチェックが付いている場合はデバイスを再プロビジョニングでき、設定は保存されます。

 **注記**：BIOS 管理者パスワードを設定して、不正なプロビジョニング解除が行われないようにすることをおすすめします。パスワードが設定されていないと、デバイスを物理的に入手した人物は[Always On Remote Management]機能（ロックやデータ消去機能を含む）を無効にできます。



## [Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) によるリモートでのデータの消去

[Always On Remote Management] (常にリモート管理の対象) が有効になっているデバイスの場合は、すべての内蔵ドライブにあるユーザー、オペレーティングシステム、およびプログラムファイルのすべてのデータが BIOS によって安全に消去されます。BIOS による消去が完了した後、デバイスにオペレーティングシステムをインストールするには PIN を入力する必要があります。

### 注記:

- リモートでのデータの消去を実行するときに、[Always On Remote Management]機能をサポートしているデバイスは、スリープ (S3)、休止状態 (S4)、ソフトウェアによる電源オフ (S5) などの省電力状態になっていてもかまいませんが、消去コマンドを受信するためにインターネット接続が利用可能である必要があります。
- リモートでのデータの消去を実行するときに、[Always On Remote Management]機能をサポートしていないデバイスは、電源が入っていてインターネットに接続できる状態である必要があります。


## アプリケーションの展開

IT 管理者は、Windows デバイスまたはモバイルデバイスに対するアプリケーションの展開を管理できます。

- [アプリケーションの展開 \(Windows\)](#)
- [モバイルアプリケーションの展開 \(Windows、Android、および iOS\)](#)

### アプリケーションの展開 (Windows)

IT 管理者は、アプリストア以外からの Windows アプリケーション (.MSI や setup.exe など) の展開を管理できます。会社の HP Touchpoint Manager ストアにアップロードしたアプリは、iOS および Android の無料アプリを展開する場合と同じ方法でアプリカタログに追加できます ([モバイルアプリケーションの展開 \(Windows、Android、および iOS\)](#) を参照してください)。

 注記: 各会社でのアプリケーションのアップロードは 20 GB に制限されています。


1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで[サービス]を選択し、[アプリケーションの展開]の下から[Custom Apps] (カスタムアプリ) を選択します。
2. アプリケーションを追加するには、[追加]を選択し、アプリケーションの情報を入力して、[アップロード]を選択します。

以下の表に使用可能な設定を示します。


設定	説明
<b>Windows アプリケーション</b>	
名前	アプリケーションの名前を入力します
発行者	アプリケーションの発行者を入力します (省略可能)
オペレーティングシステム	アプリケーションをインストールするオペレーティングシステムを選択します。このオペレーティングシステムで作成している対象デバイスにのみアプリケーションがインストールされます

設定	説明
ファイルの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[Windows 64 ビット]</b>: 64 ビットバージョンの Windows にのみインストールできるアプリケーションの場合は、このオプションを選択します</li> <li>• <b>[Windows 32 ビット]</b>: 32 ビットバージョンの Windows にのみインストールできるアプリケーションの場合は、このオプションを選択します</li> </ul>
インストーラー起動ファイルの選択	<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>[.exe]</b>または<b>[.msi]</b>: アップロードするインストーラーファイルの種類を選択します</li> </ul>
<b>インストールオプション</b>	
サイレントインストール	サイレントインストールのコマンドラインオプションを入力します。インストーラーがユーザーの操作を必要とする場合は、インストールが失敗することがあります
リポート抑制	リポートを抑制するコマンドラインオプションを入力します。インストーラーがリポートを要求する場合は、次に行われるアプリカタログ内のアプリケーションのインストールが失敗することがあります
その他のカスタム オプション	その他のコマンドラインオプションを入力します（省略可能）
<b>検出ルール</b>	
ファイルの場所	<p>アプリケーションのインストール後に対象デバイス上に置かれるファイルのパスを入力します</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Program Files (x86)</b>または<b>Program Files</b>: 64 ビットのオペレーティングシステムでは、両方のフォルダーが検索されます</li> <li>• <b>%System Drive%</b>: オペレーティングシステムがインストールされているドライブ（通常は C ドライブ）を表します</li> </ul>
レジストリ キーの場所	<p>アプリケーションのインストール後に対象デバイス上に置かれるレジストリ キーのパスを入力します。レジストリ キーは HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\の下に格納する必要があります</p> <p>32 ビットおよび 64 ビットバージョンの両方のレジストリ パスが検索されます</p>
<b>リターンコード</b>	
成功	<p>HP Touchpoint Manager は、アプリケーションが正常にインストールされたかどうかをこのリターン コードで判別します</p> <p>インストールが成功したときにアプリケーションが別のコードを返す場合のみ、成功リターン コードを編集してください</p>
成功（再起動が必要）	<p>HP Touchpoint Manager は、アプリケーションが正常にインストールされたかどうかをこのリターン コードで判別します</p> <p>インストールが成功し再起動が必要なときにアプリケーションが別のコードを返す場合のみ、成功リターン コードを編集してください</p>

展開する準備ができていないすべてのアプリケーションの一覧が表示されます。20 GB の割り当てのうちの空き領域も確認できます。

 **注記：** Windows インストーラー ファイルは、セットアップ中にユーザーの操作を必要とするため、HP Touchpoint Manager ではインストールできません。ユーザーにアプリケーションを配布する前に、必ずアプリケーションの展開をテストしてください。


3. 以前に入力したアプリケーションの情報を変更するには、**【編集】**を選択します。
4. ストアからアプリケーションを削除するには、アプリケーションを選択してから**【削除】**を選択します。

 **注記：** ストアからアプリケーションを削除すると、アプリケーションをアップロードするためのストレージ領域が増えます。すでに展開されているアプリケーションがデバイスから削除されることはありません。

5. **【アプリケーションの追加】**を選択します。

## モバイルアプリケーションの展開 (Windows、Android、および iOS)

IT 管理者は登録済みモバイル デバイスの新しいアプリ カタログを作成できます。

 **注記：** HP Touchpoint Manager では、アプリケーションの展開機能を使用して無料のアプリを配信できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**【サービス】**を選択し、**【アプリケーションの展開】**の下から**【構成】**を選択します。
2. **【アプリ カタログ】**で、**【新規作成】**を選択します。
3. アプリ カタログに詳細な説明を入力し、**【次へ】**を選択します。
4. アプリ カタログに追加するアプリケーションを検索して選択し、**【次へ】**を選択します。
5. アプリ カタログを受信するグループを検索して選択し、**【完了】**を選択します。

- 新しいアプリ カタログが**【アプリケーションの展開】**ホームページに表示されます。
- カタログ内のすべてのアプリが会社のアカウントに登録された選択対象グループ内のすべてのデバイスにプッシュ送信され、各デバイスが、インストール可能な新しいアプリの通知を受け取ります。

ユーザーは、通知を受け取った後、自分のデバイスにアプリケーションをインストールする必要があります。

 **注記：**

- 検索結果は、ブラウザーの言語設定に基づいています。特定の言語でのみ使用できるアプリケーションを検索するには、ブラウザーの言語設定をその言語に設定する必要があります。
- Windows または Android を搭載したデバイスでは、アプリケーションがアンインストールされたかどうか HP Touchpoint Manager によって定期的にチェックされ、アンインストールされた場合はアプリケーションを再インストールするようユーザーに通知されます。

## アプリ カタログの編集

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで【サービス】を選択し、【アプリケーションの展開】の下から【構成】を選択します。
2. [Productivity] (生産性) ドロップダウンメニューから【編集】を選択します。
3. アプリ カタログが開いたら、必要な項目を編集して、【完了】を選択します。

## アプリ カタログの複製

IT 管理者は、アプリ カタログを複製して、既存のアプリ カタログの完全なコピーを作成できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで【サービス】を選択し、【アプリケーションの展開】の下から【構成】を選択します。
2. [Productivity] (生産性) ドロップダウンメニューから【複製】を選択します。
3. アプリ カタログが開いたら、複製するアプリ カタログの必要な項目を編集して、【次へ】を選択します。
4. アプリ カタログ用の新しいアプリケーションを検索して選択し、【完了】を選択します。

## アプリ カタログの削除

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで【サービス】を選択し、【アプリケーションの展開】の下から【構成】を選択します。
2. [Productivity] (生産性) ドロップダウンメニューから【削除】を選択します。
3. 【OK】を選択して削除操作を確定します。

## アプリ カタログの詳細の表示

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、【サービス】を選択し、【アプリケーションの展開】の下から【構成】を選択します。
2. [Productivity] (生産性) ドロップダウンメニューから【詳細】を選択します。

## パスワード復元

[HP Password Recovery] (HPPR) 機能を使用すると、Windows ユーザーは、HP Touchpoint Manager によって管理されている登録済み Windows デバイスのパスワードを忘れてしまった場合にパスワードをリセットできます。


## HP Password Recovery の有効化


ユーザーがプロ パッケージにアップグレードした場合、アカウントと関連付けられているすべての登録済みデバイスに[HP Password Recovery] (HPPR) 機能を自動的に配布できます。

初期設定では、この機能は登録済みユーザーに自動的に配布されないため、ユーザーは以下の手順に沿ってこの機能を有効にする必要があります。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで【サービス】を選択し、【パスワード復元】の下から【構成】を選択します。
2. 【パスワード復元の有効化】チェック ボックスにチェックを入れ、【保存】を選択します。

設定はすぐに有効になり、HP Touchpoint Manager アカウントに登録されているすべての Windows デバイスが[HP Password Recovery]機能を受信します。

 **注記：** このチェックボックスのチェックを外しても、パスワード復元機能を搭載したデバイスからこの機能がアンインストールされることはありません。

 **注記：** 管理対象ユーザーが複数の Windows デバイスを使用している場合、パスワードのリセット用の質問と答えのペアは、コンピューターごとに異なります。

## [HP Password Recovery]の設定


HP Password Recovery プロバイダーがインストールされた後、ユーザーはセキュリティ資格情報の 3 つの質問を入力します。これらの質問に対する答えにより、Windows パスワードを忘れたユーザーを認証します。


セキュリティの質問が作成されると、**[HP Password Recovery]**が Windows ログオン画面のパスワード入力テキストボックスの下に表示されます。

## Windows パスワードのリセット

コンピューターで Windows パスワードをリセットするには、以下の手順を実行します。

1. **[HP Password Recovery]**を選択し、事前に選択した 3 つの質問の答えを入力します。
2. 正しい答えが入力されると、忘れた Windows パスワードをリセットできます。

 **注記：** Windows アカウントがドメインアカウントの場合、Windows パスワードをリセットするにはデバイスがそのドメインに接続されている必要があります。

 **注記：** ドメインアカウントの場合、Windows パスワードが別のデバイスでリセットされると、事前に選択したセキュリティの質問は無効になります。ユーザーは、以下の指示に沿って、**[HP Password Recovery]**のセキュリティの質問をリセットして**[HP Password Recovery]**を動作状態に戻す必要があります。

## [HP Password Recovery]のセキュリティの質問のリセット

事前に選択したセキュリティの質問を変更するには、以下の手順を実行します。


1. **[HP Password Recovery]**→**[[HP Password Recovery]のリセット]**の順に選択し、Windows アカウントのパスワードを入力します。
2. 正しい Windows パスワードを入力すると、Windows アカウント用のセキュリティの質問を新しく選択できます。

## [HP Password Recovery]の展開の無効化

新しく登録されたデバイスへの**[HP Password Recovery]**機能の展開を無効にするには、以下の手順を実行します。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[サービス]**を選択し、**[パスワード復元]**を選択します。
2. **[[HP Password Recovery]を Windows デバイスに展開します。]**チェックボックスのチェックを外し、**[保存]**を選択します。

設定はすぐに有効になり、HP Touchpoint Manager アカウントに新しく登録されるデバイスは HP Password Recovery 機能を受信しなくなります。

 **注記：** この設定を無効にしても、デバイスにインストール済みの**[HP Password Recovery]**がアンインストールされることはありません。

## リモートコントロール

プロパッケージサブスクリプションで利用できるリモートコントロールサービスにより、IT 管理者はブラウザを使用して、登録済みの Windows デバイスを事実上どこからでもコントロールできます。IT 管理者は、HTML5 対応ブラウザ搭載のデバイスを使用して、管理対象の Windows デバイスを遠隔制御できます。

### リモートコントロールセッションの開始

IT 管理者は以下のどちらかの方法で、登録済みデバイスとのリモートコントロール接続を確立できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの[**クイックリンク**]の下から、[**リモートコントロール**]を選択します。
2. 検索ボックスに、デバイス、ユーザー名、または電子メールアドレスを入力して[**検索**]を選択し、画面の説明に沿って操作します。

または

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、[**デバイス**]を選択します。
2. リモートでコントロールしたいデバイスを選択します。
3. [行う操作...]で、[**リモートコントロールを有効にする**]を選択します。

IT 管理者は、リモートコントロールビューアーを使って、リモートでコントロールされているデスクトップをすべての側面から管理できます。


### リモートコントロールオプションの構成

IT 管理者は、リモートコントロールセッションのオプションを構成できます。


1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、[**サービス**]→[**リモートコントロール**]→[**構成**]の順に選択します。
2. 以下の 1 つまたは複数のオプションを選択します。

#### セッションの設定

- **[キーボードおよびマウスをロックアウト]**: リモートデバイスのキーボードおよびマウスを無効にするには、チェックボックスにチェックを入れます。リモートコントロールセッション中は、リモートコントロールビューアーのキーボードおよびマウスのみが機能します。

 **注記**: Windows の特殊なキーの組み合わせ (ctrl + alt + del または Windows キー + L など) はロックアウトされません。

- **[リモートデバイスに壁紙を表示しない]**: デバイスの壁紙の代わりに無地の壁紙を使用するには、チェックボックスにチェックを入れます。このオプションを選択すると、リモートコントロールセッション中の速度が上がります。
- **[画質]**: ドロップダウンメニューで、[**高**]、[**中**]、[**低**]のどれかを選択します。画質を下げると、リモートコントロールセッション中の速度が上がります。

 **注記**: リモートコントロールウィンドウの色は、リモートデスクトップと異なる場合があります。


## セッションの詳細設定

- **[キーボードの言語]**：キーボードで使用する言語を選択します。
  - **[分：無操作状態によるタイムアウトまでの時間]**：マウスまたはキーボードの操作が検出されなくなってから、リモートコントロールセッションが有効なまま維持される時間の長さ（分）を入力します。
3. **[保存]**を選択します。
  4. すべてのリモートコントロールセッションの確認メッセージを表示するには、**[リモートセッションの度に設定の確認を表示]**チェックボックスにチェックを入れます。
  5. **[リモートセッションの開始]**を選択します。

## リモートコントロールセッションビューアーの使用

リモートコントロールセッションを開始すると、リモートコントロールセッションビューアーが表示されます。画面の左側に、以下のコントロールを備えたツールバーが表示されます。

- **[Keyboard]**（キーボード）：スクリーンキーボードを表示します。ブラウザでは通常リモートコンピューターに渡すことができないキーを、キーボードを使用して押すことができます。**ctrl** キー、**alt** キー、および **shift**（上向き矢印）キーは、キーを再びクリックするまで押されたままになります。
- **[Remote Execute]**（リモート実行）：リモートデバイス上の実行可能ファイルを検出して起動できます。
- **[Screenshot]**（スクリーンショット）：スクリーンショットをキャプチャし、その画像を保存できます。
- **[アップロード]**：お使いのコンピューターからリモートデバイスにファイルをリモート転送できます。
- **[ダウンロード]**：リモートデバイスからお使いのコンピューターにファイルをリモート転送できます。
- **[Monitors]**（モニター）：リモートコンピューターに複数のモニターがある場合、モニターを選択できます。モニターのサムネイル画像は、セッションが開始されたときの各モニターの表示を示します。
- **[Zoom]**（ズーム）：ブラウザのウィンドウに収まるようにリモートセッションの表示サイズを変更できます。ウィンドウサイズが小さすぎる場合、サイズ変更されたセッションのテキストおよびその他の要素がほとんど見えなくなる場合があります。ズームインすると、ウィンドウに収まらない部分を表示するためのスクロールバーが表示されます。
- **[チャット]**：リモートデバイスを使用中のユーザーとチャットできます。
- **[再起動]**：デバイスをリモートから再起動できます。

 **注記**：デバイスの再起動によってリモートコントロールセッションは実質的に終了します。ユーザーには、再起動後もう一度リモートコントロールセッションを受け入れるよう指示してください。通常、IT 管理者はもう一度リモートコントロールセッションを有効にし、実装した修正が有効になり、ユーザーの問題が解決されたことを確認します。

- **[設定]**：[設定]ダイアログを表示します。

## モバイルデバイスからのリモートコントロールの使用

HTML5 対応ブラウザを使用すれば、どのデバイスでも Windows コンピューターのリモートコントロールを実行できます。



**注記：** モバイルデバイスはデスクトップデバイスよりも一般的に低速のプロセッサが使用されているため、同等のデスクトップを使用したリモートコントロールセッションに比べて、フレームレートが若干遅い場合があります。

古いブラウザを使用してモバイルデバイスから別のコンピューターをリモートコントロールし、セッションが有効なままモバイルデバイスがスリープ状態になると、モバイルデバイスのブラウザがフリーズする可能性があります。HTML リモートコントロールページを解放するには、ブラウザに別の URL を入力して移動してみてください。

## リモートコントロールセッションの終了

リモートコントロールセッションは、以下のどれかの方法で終了できます。

- 画面の**[Your screen is visible to ...]**（画面の表示先...）タグを右クリックし、**[End session]**（セッションの終了）を選択します。
- リモートコントロールセッションビューアーの設定で定義されている**[End Viewing Session]**（表示セッションの終了）ホットキーを使用します。
- リモートコントロールセッションビューアーで、**[End Session]**（セッションの終了）を選択します。

## セキュリティ

HP Touchpoint Manager では、デバイス上でセキュリティポリシーを適用できます。セキュリティプロファイルとは、デバイスのセキュリティ機能に関するルールのセットのことです。

既存のセキュリティプロファイルを表示するには、以下の操作を行います。

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[セキュリティ]**の下から**[状態]**を選択します。

次のセキュリティプロファイルポリシーテンプレートが利用できます。

- **[標準]**：4桁のパスワードが必要で、操作しない状態が30分間続いた後にデバイスがロックされます。
- **[強化]**：8桁のパスワードが必要です。操作しない状態が15分間続いた後にデバイスがロックされ、ロック解除の試行が15回失敗すると、デバイスからデータが消去されます。
- **[最大]**：文字と数字を含む8桁のパスワードが必要です。操作しない状態が5分間続いた後にデバイスがロックされます。パスワードが10回連続で間違えて入力された場合に、デバイスからデータが消去されます。
- **[ユーザー管理]**：IT管理者はカスタムポリシーを作成できます。以下の設定をカスタマイズできます。

設定	説明
デバイスをロックするまでの無操作の時間	初期設定：5分
パスワード	最小文字数（4）
パスワード	パスワードに文字を含めることを義務付ける（有効/無効）
パスワード	パスワードに数字を含めることを義務付ける（有効/無効）
パスワード	パスワードに特殊文字を含めることを義務付ける（有効/無効）
パスワード	[X]日後に期限切れ（有効/無効）



設定	説明
パスワードの再利用の制限	異なるパスワードが[X]個必要（有効/無効）
デバイス上のすべてのデータを消去するまでのパスワードの誤入力回数（[X]回）	（有効および回数の値/無効） <b>注記：</b> このポリシーは、個人のデバイスには適用されません
カメラ	（有効/無効） <b>注記：</b> このポリシーは、個人のデバイスには適用されません

セキュリティ プロファイルをモバイルデバイス用に作成することもできます（[モバイルデバイスのセキュリティ（Android および iOS）](#) を参照してください）。

## セキュリティ プロファイルの作成

IT 管理者はセキュリティ プロファイルを作成できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[セキュリティ]**の下から**[構成]**を選択します。
2. 編集するセキュリティ プロファイルを選択するか、ドロップダウン メニューから**[詳細]**を選択します。
3. セキュリティ プロファイルのページで、**[編集]**を選択します。
4. セキュリティ プロファイルのデバイスを変更するには、デバイスのウィンドウで**[編集]**を選択します。

ウィザードが開いたら、セキュリティ プロファイルを作成したときと同じ操作を行って、セキュリティ プロファイルを編集します（[セキュリティ プロファイルの作成](#) を参照してください）。

## セキュリティ プロファイルの編集

IT 管理者は、以下の操作を行ってセキュリティ プロファイルを編集できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[セキュリティ]**の下から**[構成]**を選択します。
2. 編集するセキュリティ プロファイルを選択するか、ドロップダウン メニューから**[詳細]**を選択します。
3. セキュリティ プロファイルのページで、**[編集]**を選択します。
4. セキュリティ プロファイルのデバイスを変更するには、デバイスのウィンドウで**[編集]**を選択します。

ウィザードが開いたら、セキュリティ プロファイルを作成したときと同じ操作を行って、セキュリティ プロファイルを編集します（[セキュリティ プロファイルの作成](#) を参照してください）。

## セキュリティ プロファイルの複製

IT 管理者は、セキュリティ プロファイルを複製して、既存のセキュリティ プロファイルの完全なコピーを作成できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[セキュリティ]**の下から**[構成]**を選択します。
2. 複製するセキュリティ プロファイルを選択するか、ドロップダウン メニューから**[詳細]**を選択します。

3. セキュリティ プロファイルのページで、**【複製】**を選択します。
4. セキュリティ プロファイルを複製するには、デバイスのウィンドウで**【複製】**を選択します。  
ウィザードが開いたら、セキュリティ プロファイルを作成したときと同じ操作を行って、セキュリティ プロファイルを複製します（[セキュリティ プロファイルの作成](#)を参照してください）。

## セキュリティ プロファイルの削除

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**【サービス】**を選択し、**【セキュリティ】**の下から**【構成】**を選択します。
2. 削除するセキュリティ プロファイルを選択するか、ドロップダウンメニューから**【詳細】**を選択します。
3. セキュリティ プロファイルのページで、**【削除】**を選択します。
4. **【OK】**を選択して削除操作を確定します。

## セキュリティ プロファイルの詳細の表示

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**【サービス】**を選択し、**【セキュリティ】**の下から**【構成】**を選択します。
2. ドロップダウンメニューから**【削除】**を選択します。

## モバイルデバイスのセキュリティ（Android および iOS）

ノートブックコンピューター、デスクトップ、タブレットのほかに、HP Touchpoint Manager は、Android または iOS オペレーティングシステムを搭載したモバイルデバイスを管理できます。HP Touchpoint Manager の機能をインストールしてモバイルデバイスから使用するには、ユーザーは、ユーザー名とパスワードまたは IT 管理者が指定した PIN コードを使用して、クライアントをインストールしてデバイスを登録する必要があります。デバイスが登録されると、ユーザーは HP Touchpoint Manager で提供されているすべての機能を使用できるようになります。

HP Touchpoint Manager では、モバイルデバイス上でセキュリティ ポリシーを適用できます。詳しくは、[セキュリティ](#)を参照してください。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【サービス】**を選択し、**【セキュリティ】**を選択します。
2. **【セキュリティ】**で、**【状態】**→**【モバイルセキュリティ】**の順に選択します。

HP Touchpoint Manager に登録済みのすべての Android および iOS モバイル デバイスの一覧が表示されます。

## ウィルス対策（Windows のみ）

ウィルス対策ソフトウェアは、コンピューター ウィルスまたは悪意のあるソフトウェア（マルウェア）からデバイスを保護する場合に役立ちます。

HP Touchpoint Manager は、ウィルス対策ソフトウェアが有効になっているかどうかを検出し、有効にできない場合は警告します。

- ウィルス対策ソフトウェアがインストールされている場合、HP Touchpoint Manager は、その製品名およびそのソフトウェアが有効になっているか無効になっているかを[ウィルス対策]ページに表示します。
- 有効なウィルス対策ソフトウェア製品が検出されない場合、HP Touchpoint Manager は自動的に、Windows 8.0 以降のオペレーティング システムではデバイスの[Windows Defender]を有効にし、Windows 7 では[Microsoft Security Essentials]をデバイスにダウンロードして有効にします。
- 他社製の (Microsoft 製以外の) ウィルス対策ソフトウェアがインストールされていて無効になっている場合、HP Touchpoint Manager では、他社製のウィルス対策製品を有効にすることができず、デバイスの[Windows Defender]または[Microsoft Security Essentials]を有効にすることもありません。

HP Touchpoint Manager は、デバイスの監視を継続し、[Windows Defender]または[Microsoft Security Essentials]を有効なままにします (他のウィルス対策ソフトウェアがインストールされていない場合)。また、HP Touchpoint Manager は、Microsoft 製のウィルス対策製品を有効にできない場合はユーザーに警告します。

IT 管理者は、デバイスのウィルス対策機能の監視ポリシーを表示または変更できます。

- **デバイスのウィルス監視ポリシーの表示** : HP Touchpoint Manager ダッシュボードで[サービス]を選択します。[セキュリティ]で、[状態]→[ウィルス対策]の順に選択します。
- **デバイスの検索** : 検索ボックスにデバイス名を入力し、[検索]を選択します。

## ファイアウォール (Windows デバイスのみ)

ファイアウォールによる保護を使用すると、管理対象の Windows コンピューター上で Windows ファイアウォール サービスが有効になります。ファイアウォールは、デバイスやネットワークへの不正なアクセスの防止に役立つソフトウェアまたはハードウェアです。

HP Touchpoint Manager は、ファイアウォールソフトウェアが有効になっているかどうかを検出し、有効にできない場合は警告します。ウィルス対策ソフトウェアがインストールされている場合、HP Touchpoint Manager は、その製品名およびそのソフトウェアが有効になっているか無効になっているかを[ファイアウォール]ページに表示します。

- **Display the firewall monitoring policy for devices** (デバイスのファイアウォール監視ポリシーの表示) : HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、[サービス]を選択します。[セキュリティ]で、[状態]→[ファイアウォール]の順に選択します。
- **デバイスの検索** : 検索ボックスにデバイス名を入力し、[検索]を選択します。


## ソフトウェア インベントリ (Windows および Android)

登録済みデバイスにインストールされているアプリケーションの情報を表示できます。

1. [デバイス]を選択し、一覧から特定のデバイスを選択します。
2. [デバイスの詳細]タブで、[ソフトウェア]→[インベントリ]の順に選択します。

インストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。

- **会社所有のデバイス** : インストールされているすべてのアプリケーションの一覧が表示されます。
- **個人のデバイス** : インストールされているアプリケーションは表示されません。

 **注記** : ソフトウェア インベントリは、アプリケーションがインストールまたは削除されると自動的に更新されます。

## ソフトウェアの更新（Windows のみ）

IT 管理者は、ソフトウェアパッチの展開（Microsoft Windows および他社製ソフトウェアの更新（プロのみ））を以下の方法で管理できます。

- **[Patch Deployment]**（パッチ展開）：指定されたパッチを対象のデバイスにインストールします。接続タイムアウトが原因でパッチのインストールが完了しない場合、インストールはデバイスが再接続されたときに再開されます。パッチが正しくインストールされたかどうか IT 管理者に通知されます。
  - **[Patch Filtering]**（パッチフィルタリング）：IT 管理者が、重大度、ユーザーグループ、デバイスグループ、デバイスの種類に基づいてパッチをフィルタリングしたり、カスタム検索を定義したりできます。フィルタリングした結果は後で分析するために CSV ファイルにエクスポートできます。
  - **[Patch Scan]**（パッチスキャン）：管理対象デバイスのエコシステムをスキャンして、最新の更新プログラムがインストールされていないデバイスを特定します。
  - **[Deployment Timing]**（展開のタイミング）：IT 管理者がパッチ管理を手動で開始するか、展開のスケジュールを事前に設定できます。
  - **[View patches at the device-specific level]**（デバイス固有レベルでパッチを表示）：IT 管理者は特定のデバイスにインストールされているすべてのパッチを**[デバイスの詳細]**ビューに表示できます。
1. **[サービス]**→**[ソフトウェアの更新]**の順に選択します。
  2. **[パッチ管理]**ページで、**[ステータス]**または**[管理]**を選択します。

### [ステータス]タブ

[ステータス]タブでは、IT 管理者は以下のタスクを実行できます。

- すべての管理対象パッチのステータスを表示して、どれが正常にインストールされ、どれがインストールに失敗し、どれが保留中かを判別できます。
- 標準またはユーザーが定義した条件によってパッチをフィルタリングします。
- パッチの手動インストールを開始します。
- フィルタリングした結果を後で分析するために CSV ファイルにエクスポートします。

### [管理]タブ


[管理]タブでは、IT 管理者はソフトウェアパッチ管理プロファイルを作成または編集できます。

ソフトウェアパッチ管理プロファイルには、それぞれ IT 管理者によって定義された一意の名前および説明があります。IT 管理者は以下のオプションを指定することもできます。

- インストールするパッチの種類：
  - 重要な更新を自動的にインストールする
  - 重要および推奨される更新を自動的にインストールする
  - すべてのパッチを自動的にインストールする
  - パッチをインストールしない
- パッチのスキャンおよびインストールを実行する曜日と時刻
- プロファイルが適用されるグループ

## Wi-Fi プロビジョニング (Android および iOS のみ)

IT 管理者は登録済みモバイルデバイスの無線接続を展開および管理できます。

 **注記：** 無線接続を管理するためには、デバイスをインターネットに接続する必要があります。

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[Wi-Fi プロビジョニング]**の下から**[構成]**を選択します。

### 無線接続の作成

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで**[サービス]**を選択し、**[Wi-Fi プロビジョニング]**の下から**[構成]**を選択します。
2. **[Wi-Fi プロビジョニング]**で、**[新規作成]**を選択します。
3. Wi-Fi プロビジョニングの詳細な説明を入力し、**[次へ]**を選択します。
4. 必要な情報（ネットワーク名/SSID、セキュリティの種類、セキュリティキーなど）を入力し、**[次へ]**を選択します。
5. Wi-Fi プロビジョニングを適用するデバイスを選択し、**[完了]**を選択します。

新しい無線接続が**[Wi-Fi プロビジョニング]**ホームページに表示されます。

### 無線接続の編集

1. **[サービス]**→**[Wi-Fi プロビジョニング]**の順に選択します。
2. 編集する Wi-Fi プロビジョニングの**[Productivity]**（生産性）ドロップダウンメニューから**[編集]**を選択します。
3. Wi-Fi プロビジョニングが開いたら、必要な項目を編集して、**[完了]**を選択します。

### 無線接続の複製

IT 管理者は、無線接続を複製して、既存の無線接続の完全なコピーを作成できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[サービス]**を選択し、**[Wi-Fi プロビジョニング]**を選択します。
2. 編集する無線接続の**[Productivity]**（生産性）ドロップダウンメニューから**[複製]**を選択します。
3. Wi-Fi プロビジョニングが開いたら、複製した Wi-Fi プロビジョニング設定の必要な項目を編集して、**[完了]**を選択します。


### 無線接続の削除

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**[サービス]**を選択し、**[Wi-Fi プロビジョニング]**を選択します。
2. 削除する無線接続の**[Productivity]**（生産性）ドロップダウンメニューから**[削除]**を選択します。
3. **[OK]**を選択して削除操作を確定します。

## Wi-Fi プロビジョニングの詳細の表示

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【サービス】**を選択し、**【Wi-Fi プロビジョニング】**を選択します。
2. 表示する無線接続の**【Productivity】**（生産性）ドロップダウンメニューから**【詳細】**を選択します。

## 設定

IT 管理者は、HP Touchpoint Manager ダッシュボードの右上隅にある  を選択して、アカウント情報を表示または変更したり、サブスクリプションを管理したりできます。

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで  を選択し、**【会社】**、**【サブスクリプション】**、または**【証明書】**を選択します。


## 会社


ユーザー情報を表示または変更するには、 →**【会社】**の順に選択してから、以下のオプションのどちらかを選択します。

- **【会社名および住所】**：**【編集】**を選択して新しい情報を入力し、**【保存】**を選択します。
- **【メインの連絡先】**：**【メインの連絡先の変更】**の横にある下向きの矢印を選択し、希望する名前を選択して、**【保存】**を選択します。メインの連絡先として選択できるのはIT 管理者のみです。

## サブスクリプション


クレジットカードを使用するか、以前に購入したサブスクリプションキーを使用してユーザーを追加できます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 →**【サブスクリプション】**の順に選択します。
2. 新しいカードを追加するには、**【月払い】**で**【支払い方法の更新】**を選択し、画面の説明に沿って操作します。
3. 未払い、保留中、および登録済みの注文を表示するには、**【購入履歴】**を選択します。
4. HP Touchpoint Manager のサブスクリプションをキャンセルするには、**【HP Touchpoint Manager】のサブスクリプションのキャンセル**で**【サブスクリプションのキャンセル】**を選択し、**【続行】**を選択して確認します。

 **注記**：HP Touchpoint Manager アカウントをキャンセルすると、すべてのユーザー、デバイス、およびサービスが削除されます。

## クレジットカード

すでに完了した注文の支払い方法を変更したり、クレジットカード情報を更新したり、新しいクレジットカードを追加したりできます。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 →**【会社】**の順に選択します。  
[支払い方法]画面が表示されます。
2. 支払い情報を更新するには、**【カードを更新する】**を選択します。

3. 新しいカードを追加するには、**[+クレジットカードを追加]**を選択し、新しい情報を入力します。
4. すでに完了した注文の支払い方法を変更するには、**[ここをクリックしてください]**を選択し、画面の説明に沿って操作します。

## サブスクリプションキー

サブスクリプションキー情報を表示または追加するには、**[クイックリンク]**の下から、**[サブスクリプションキーの追加]**を選択します。

または

 → **[サブスクリプション]**の順に選択します。

詳しくは、[サブスクリプションキーの追加](#)を参照してください。

## サブスクリプションキーの追加

HP Touchpoint Manager サービスでは、パートナーまたは HP 販売特約店から、1 人または複数のユーザーに対して 1 年間、2 年間、または 3 年間のサブスクリプションキーを購入できます。

購入を完了すると、サブスクリプションキーの番号および追加の手順が記載された電子メールが届きます。


1 つの購入済みサブスクリプションキーを追加するには、以下の操作を行います。


1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**[クイックリンク]**の下から、**[サブスクリプションキーの追加]**を選択します。

または

 → **[サブスクリプション]**の順に選択します。

2. **[サブスクリプションキー]**の下から、**[キーの追加]**を選択し、購入済みキーを入力するか貼り付けてから、**[追加]**を選択します。

 **注記：** サブスクリプションキーを入力したら、そのキーが、届いた電子メールのキーと一致していることを確認します。サブスクリプションキーが有効になるまで最大 24 時間かかることがあります。

 **注記：** サブスクリプションキーはできるだけすぐに有効にしてください。キーをすぐに有効にしないと、購入から 90 日後に自動的に有効になり、その結果サブスクリプションの期間が短くなる可能性があります。

## 複数のサブスクリプションキーの追加


IT 管理者は、テキスト編集プログラムを使用してユーザーリストを作成することで、一度に複数のサブスクリプションキーを追加できます。

1. メモ帳などのテキスト編集プログラムを開きます。
2. 各サブスクリプションキーを別々の行に記載します。
3. サブスクリプションキーの追加が終了したら、**keys.csv** という名前でファイルを保存します。

複数の購入済みサブスクリプションキーを追加するには、以下の操作を行います。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードの**[クイックリンク]**の下から、**[サブスクリプションキーの追加]**を選択します。

または

 →[サブスクリプション]の順に選択します。


2. **【複数のサブスクリプションキーの追加】**→**【参照】**の順に選択し、購入済みキーのリストが記載された.csv ファイルを選択して、**【インポート】**を選択します。

複数のキーを追加すると、サブスクリプションの一覧が以下の情報とともに表示されます。

- 現在の状態
- 開始日
- 有効期限
- 期間
- サブスクリプションの数


### サブスクリプションの選択


IT 管理者は、ベーシックパッケージサブスクリプションまたはプロパッケージサブスクリプションを選択し、支払いオプションを選択できます。支払いオプションには、購入済みサブスクリプションキーおよびクレジットカードがあります。アップグレードするには、ユーザーごとにサブスクリプションキーが必要です。詳しくは、[サブスクリプション](#) を参照してください。


 **注記：** プリペイドサブスクリプションを購入している場合は、新しいユーザーを追加する前にサブスクリプションキーをアカウントに追加する必要があります（[サブスクリプションキーの追加](#) を参照してください）。

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、**【プロパッケージを今すぐ購入】**を選択します。
2. **【1. サブスクリプションの選択】**の下から、**【ベーシックパッケージを購入】**または**【プロパッケージを購入】**を選択します。
3. **【2. 支払い方法】**の下で、以下の操作を行います。
  - 以前に購入したサブスクリプションキーを使用するには、以下の操作を行います。
    - a. **【サブスクリプションキー】**の下から、**【キーの入力】**を選択し、サブスクリプションキーを入力するか貼り付けてから、**【追加】**を選択します（[サブスクリプションキーの追加](#)）。サブスクリプションキーが表示されます。
    - b. 注文を完了するには、**【送信】**を選択します。
  - クレジットカードで月払いのサブスクリプションを購入するには、以下の操作を行います。
    - a. **【クレジットカード】**で、**【クレジットカードの入力】**を選択します（[クレジットカード](#)）。
    - b. **【注文の完了】**で、**【続行して精算】**を選択します。

電子商取引の Web サイトに移動します（[クレジットカード](#) を参照してください）。


 **注記：** 請求および購入プロセス中にヘルプにアクセスするには、**【Avangate 社の請求サポート】**を選択します。購入プロセス中に Avangate 社から受け取った番号を入力する必要があります。

 **注記：** サブスクリプションのアップグレードが終わった後、更新されたサブスクリプション オプションを表示するには、HP Touchpoint Manager からログアウトしてから再びログオンする必要があります。

 **注記：** 同一顧客では、ユーザーのサブスクリプションレベルを、ベーシックパッケージまたはプロパッケージのどちらかに統一する必要があります。




## プロパッケージからのダウングレード

1. HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 → [サブスクリプション]の順に選択します。
2. [プロパッケージサブスクリプション]で、[管理]を選択します。
3. [ベーシックパッケージを購入]を選択します。


## 証明書

IT 管理者は、[設定]ページで Apple Push Notification (APN) 証明書を管理できます。

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 → [証明書]の順に選択します。  
利用可能な証明書が表示されます。

## 一時停止中のアカウントの再有効化

サブスクリプションの有効期限が切れたり、支払いをしなかったりすると、アカウントが一時停止されることがあります。

 **注記：** サブスクリプションアカウントを再度有効にするには、同じレベルのサブスクリプションキーが必要です。たとえば、以下ようになります。ベーシックパッケージサブスクリプションにはベーシックキー、プロパッケージサブスクリプションにはプロキーが必要です。現時点では、プロパッケージサブスクリプションをベーシックキーで再度有効にすることはできず、ベーシックパッケージサブスクリプションをプロキーで再度有効にすることもできません。

アカウントが一時停止されている間も、サブスクリプション料は継続して発生します。

アカウントが一時停止されている場合は、以下の操作を行って問題を解決します。

1. [解除の方法]の下にある[アカウントの一時停止]で、以下のどれかを選択します。
  - [キーの入力]： [サブスクリプションキーの追加](#) を参照してください。
  - [クレジットカードの入力]： [クレジットカード](#) を参照してください。
  - [ユーザー管理]： [ユーザー](#) を参照してください。
2. 画面の説明に沿って操作します。

## ハードウェアの状態 (Windows デバイスのみ)


所有者名とデバイスの状態を示したデバイスの一覧を表示できます。HP 製および HP 製以外の両方のデバイスについて、ハードドライブとバッテリーの状態を監視します。

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 を選択して、[サービス]を選択します。
- **デバイスの問題の詳細表示：** [クリックして情報を表示]を選択します。

[ハードウェアの状態]では、デバイスを監視して次のどちらか1つを表示します：[問題はありません]または[問題が検出されました]→[クリックして情報を表示]

- **デバイスの検索：** 検索ボックスにデバイス名を入力し、[検索]を選択します。

## サインアウト

- ▲ HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 → [サインアウト]の順に選択します。

## ヘルプとサポート

HP Touchpoint Manager ダッシュボードで、 を選択し、【ヘルプとサポート】で使用可能なオプションのどれかを選択します。

## 5 付録

### IT 管理者および管理対象ユーザーの役割

ユーザーの役割によって、ユーザーが HP Touchpoint Manager で実行できる作業および操作が決まります。以下の表に、役割とそれぞれのアクセス権の一覧を示します。

#### HP Touchpoint Manager へのアクセス

アクセス権	IT 管理者	管理対象ユーザー
招待の承認/アカウントの確認	✓	✓
警告ページへのアクセス	✓	
デバイスの詳細ページへのアクセス（他のユーザーのデバイス）	✓	
デバイスの詳細ページへのアクセス（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
デバイス ページへのアクセス	✓	
サービス ページへのアクセス	✓	
アカウントの作成	✓	
サービス設定の管理	✓	
自分の HP Touchpoint Manager パスワードを忘れた場合のリセット	✓	✓
ダッシュボードの表示	✓	✓

#### HP Touchpoint Manager サービスの使用

HP Touchpoint Manager サービス	IT 管理者	管理対象ユーザー
検索、ロック、アラーム（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
検索、ロック、アラーム（他のユーザーのデバイス）	✓	
データの消去（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
データの消去（他のユーザーのデバイス）	✓	
サービス設定およびポリシーの表示および変更	✓	
自分のデバイスの登録	✓	✓
デバイスの詳細ページの表示（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
デバイスの詳細ページの表示（他のユーザーのデバイス）	✓	

HP Touchpoint Manager サービス	IT 管理者	管理対象ユーザー
忘れた Windows パスワードのリセット（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
忘れた Windows パスワードをリセットするための質問と答えの詳細設定（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓

## HP Touchpoint Manager の IT 管理

作業	IT 管理者	管理対象ユーザー
ユーザーおよびデバイスポリシー設定の管理	✓	
企業および請求設定の表示および管理	✓	
ユーザーの追加、更新、削除	✓	
デバイスの登録および登録解除（ユーザー自身のデバイス）	✓	✓
デバイスの削除（他のユーザーのデバイス）	✓	

## アカウントおよび請求の管理

作業	IT 管理者	管理対象ユーザー
プロパッケージへのアップグレード	✓	
プロパッケージからベーシックパッケージへのダウングレード	✓	
HP Touchpoint Manager サブスクリプションのキャンセル	✓	

## HP Touchpoint Manager のアンインストール

### Android デバイス

Android デバイスから HP Touchpoint Manager アプリケーションを削除するには、以下の手順を実行します。

手順 1：HP Touchpoint Manager を無効にします。

1. **【設定】**をタップして、**【セキュリティ】**をタップします。
2. **【端末管理者】**をタップして、[HP Touchpoint Manager]チェック ボックスをクリアします。

手順 2：デバイスから HP Touchpoint Manager をアンインストールします。

1. **【すべてのアプリ】**をタップします。
2. HP Touchpoint Manager アプリケーションをタップしたまま、アイコンを画面の上部にある**【削除】**にドラッグします。
3. 確認メッセージが表示されたら、**【削除】**をタップして確定します。

---

 **注記：** アプリケーションは、デバイスからのみ削除できます。Google Play ストア経由のアンインストールはサポートされていません。

---

## iOS デバイス

iOS デバイスから HP Touchpoint Manager アプリケーションを削除するには、以下の手順を実行します。

1. **[HP Touchpoint Manager]** アイコンを動き始めるまでタップしたままにして、アイコンの隅の**[X]**をタップします。
2. デバイスから HP Touchpoint Manager デバイス管理プロファイルを削除します。
3. **[設定]** アプリケーションを起動して、**[一般]** をタップします。
4. iOS 7 の場合は、**[プロファイル]** をタップします。

または

iOS 8 以降の場合は、**[Device Management]**（デバイス管理）をタップします。

5. **[HP Touchpoint Manager Device Management]**（HP Touchpoint Manager デバイス管理）プロファイルをタップします。
6. プロセスを完了するには、**[Remove Management]**（管理の削除）をタップします。



# 索引

## A

Always On Remote Management (常にリモート管理の対象) 25  
状態の表示 26  
無効化 26  
有効化 26  
有効化の防止 26  
リモートでのデータの消去 27  
Android 24, 36, 46  
消去 23  
APN 証明書 7  
Azure AD からインポート 17

## I

iOS 36, 47  
消去 23  
IT 管理 46

## W

Wi-Fi プロビジョニング 39  
削除 39  
作成 39  
詳細 40  
複製 39  
編集 39  
Windows 31, 36, 37, 43  
消去 23

## あ

アーキテクチャー 1  
アカウント 46  
アクセス 45  
アクセス権 45  
アプリカタログ  
削除 30  
詳細 30  
複製 30  
編集 30  
アプリケーションの展開 (Windows) 27  
アラーム 24

アンインストール 46  
Android 46  
iOS 47

## い

一時停止中のアカウント 43  
一覧のインポート 16  
インストール 5  
Android 管理対象デバイス 6  
iOS 管理対象デバイス 7  
Windows 管理対象デバイス 5

## う

ウイルス対策 36

## お

お使いになる前に 5

## か

概要 1  
確認 19

## き

機能 2  
キャンセル 43

## く

クイックリンク 11, 12  
グループ 13  
削除 14  
詳細 15  
新規作成 14  
複製 14  
編集 14  
クレジットカード 40  
更新 40  
使用 40  
追加 40

## け

警告  
アラーム 24  
検索 24  
消去 24

非表示 13  
表示 13  
ログ 13  
ロック 24

## こ

恒久的な盗難防止 24  
高速プロビジョニング 9

## さ

サービス 24, 37, 39, 45  
サインアウト 43  
削除 15, 21  
ユーザー 18  
サブスクリプション  
プロパッケージ 42  
ベーシックパッケージ 42  
サブスクリプションキー 40  
1つのキーの追加 41  
複数の追加 41  
サポート 44

## し

実行方法 13  
支払い方法 40  
消去 22  
iOS 23  
Windows 23  
詳細 15, 20  
証明書  
APN 43

## せ

請求 46  
セキュリティ  
作成 34  
セキュリティの質問  
リセット 31  
セキュリティ プロファイル  
削除 36  
作成 35  
詳細 36

複製 35  
編集 35  
設定 40  
会社 40  
サブスクリプションキー 41

**そ**  
ソフトウェアインベントリ 37

**た**  
ダウンロードおよびインストール 5  
ダッシュボード 11, 13

**つ**  
追加  
複数ユーザー 16  
ユーザー 15

**て**  
デバイス  
アラーム 24  
管理 19  
削除 21  
詳細 20  
データの消去 22  
表示 19  
ロック 23  
デバイスの検索  
無効化 22  
有効化 22

**と**  
登録  
Android 管理対象デバイス 7  
iOS 管理対象デバイス 8  
Windows 管理対象デバイス 6

**は**  
ハードウェアの状態 43  
パスワードのリセット 19, 31  
パスワード復元  
Windows 30  
設定 31  
無効化 31  
有効化 30  
バッチ管理 38

**ひ**  
表示 20

**ふ**  
ファイアウォールポリシー 37  
複数  
ユーザー 16  
複数ユーザー  
追加 9  
登録 9  
プロキシサーバーの設定 6  
プロパッケージ 42  
ダウングレード 43  
紛失したデバイス  
Android 21  
iOS 21  
Windows 21

**へ**  
ヘルプ 44  
編集  
ユーザー 18

**ほ**  
ホーム 11

**も**  
モバイルアプリケーションの展開  
(Windows、Android、および iOS)  
29  
モバイルデバイス  
セキュリティプロファイル  
36

**や**  
役割 3, 45

**ゆ**  
有効化  
ユーザー 18  
ユーザー  
IT 管理者 15  
PIN のダウンロード 9, 18  
確認 19  
管理 15  
削除 18  
従業員 15  
招待 15  
新規有効化 18

追加 15  
複数の追加 16  
プロファイルの編集 18  
ユーザーリスト 16

**り**  
リセット  
Windows パスワード 31  
セキュリティの質問 31  
リモートコントロール 32  
オプション 32  
開始 32  
セッションの終了 34  
ビューアー 33  
モバイルデバイス 33

**ろ**  
ロック 23